

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
4年 上	2～5	図	削除	図は省略し、文章のみ記載。	編集の具体的方針（4） に基づく
	6	図と 絵	削除 修正	図と写真を削除し、文章化した	編集の具体的方針（4） に基づく
	7	グラ フ	修正	棒グラフは方眼を裏点で書く（以下同様）。 横軸のめもりは10度毎で示した。 横軸の目盛りと目盛りの間にあるものはだいたいの ところで読み取るように指導するのが望ましい。	編集の具体的方針（4） に基づく
	10	セリ フ	修正	キューブのセリフを以下のように修正した。  「シドニーの線と種類を変えると分かりやすいね。」	編集の具体的方針（4） に基づく
	13	グラ フ	修正	ボールのセリフを以下のように修正した。  「最高気温のめもりは、縦軸の途中を省いている ね。」 前ページで習った省く印が、縦軸の部分にだけ付いて いるため、補足説明が必要である。	編集の具体的方針（4） に基づく
	14	表	修正	数を記録する「正」の字のかわりに、点字の「へ」 を用いた。	編集の具体的方針（4） に基づく
	16	表	修正	「本の利用の様子」の表を本文2の問題文の後に挿 入した。表中の○は「こた」、×は「たこ」で表し た。	編集の具体的方針（4） に基づく
	17	問題	修正	欄外の「ふりかえり」は設問毎に挿入。以下同じ	編集の具体的方針（20） に基づく
	20	写真	修正	角度を比べる写真は省略し、文章で表した。  キューブ「比べる方法を考えよう。例えば三角定規 の角を利用したり、他の紙に写し取ったりするといい よ。」	編集の具体的方針（4） に基づく
	21	写真	削除	右上の写真は削除。次ページに、回転角を調べる2 つの円を点図化し、切り取って使えるようにした。	編集の具体的方針（4） に基づく
	23	写真	修正	分度器の写真は視覚障害者用分度器の図を載せる。	編集の具体的方針（4） に基づく
		空欄	修正	ゆみのセリフ中の空欄記号の中に°が入っているの を空欄記号の外に出す。  ゆみ「目盛りは0°から□°までついているね」	編集の具体的方針（20） に基づく
	25	問題	修正	練習問題2の⑦の問題を、視覚障害者用分度器によ る間違った測り方に変更した。	編集の具体的方針（19） に基づく
26	絵	修正	しんじの吹き出しの絵を削除し、以下のように文章 化した。  「辺の長さが短い時は、短い辺にもものさしを当て て、延長線を引いてから分度器で測るとよいかな。」	編集の具体的方針（13） に基づく	
27	図	修正	ひろきとゆみの測り方の図に文を追加した。  ひろきの測り方「あ。の角の180°より大きい部分を	編集の具体的方針（4） に基づく	

4年 上			い。と考え、 $180+i$ 。の式であ。の角を求めました。」 ゆみの測り方「う。の部分をはかり、 $360^\circ$ からう。の角を引く式、 $360-u$ 。で、あ。の角を求めました。」	
30	写真	削除 修正	「算数のお話」の写真を削除した。上から見た形を点図化し、説明文を以下のように修正した。指導にあたっては、簡単な模型を提示できるとイメージを持ちやすい。  「1回転の角度は、 $360^\circ$ です。では、 $360^\circ$ より大きい角度はないのでしょうか。静岡県河津町には、ループ橋という橋があります。ループ橋とは、バネのような形に円を描きながら、上がったたり下がったりする橋のことです。このループ橋は、2回転しています。このループ橋を通った時に回転する角度は、何度になりますか。」	編集の具体的方針（4）に基づく
31	本文	修正	右の欄外を本文中に挿入した。  1組の三角定規を組み合わせてできる角度には、どのようなものがあるか調べよう。 まず自分で考えてみよう。 どんな組み合わせ方があるかな。 みほの考え 図 ひろきの考え 図 以下同じ。	編集の具体的方針（20）に基づく
32	絵 本文	削除 修正	黒板の絵は削除した。本文を修正した。  かおりさんたちは、友達の考え方を説明しています。 かおりさんはみほさんの考え方を、たくみさんはしんじさんの考え方を、しんじさんとひろきさんはゆみさんの考え方を説明しています。 みほさんの考えは下の図45です。 (図45) みほさんの考えを見ながらかおりさんは「みほさんの作った角度を求める式は…になります。」と説明しました。 しんじさんの考えは下の式です。 $90-60=30$ 答え $30^\circ$ ゆみさんの考えは下の文です。 $15^\circ$ をつくりました。 しんじさんは、ゆみさんの考えを見ながら「図で説明すると…」と、次の図46を示しながら説明しました。 (図46) ひろきさんは、ゆみさんの考えを見ながら「式で説明すると…」と、次の式を書いて説明しました。 $\square-\square=15$ 答え $15^\circ$ キューブ「 $15^\circ$ になる組合せは1つではないよ。」	編集の具体的方針（4）に基づく

4年 上	34・35	図	修正	算数マイノートでは墨字のノートと点字のノートの作り方は違うので、それを考慮に入れて修正した。 その日の点字紙の最初に日付、教科、名前を記入してから書くのが望ましい。ノート整理をしやすくするためには、ノートが2枚以上になる場合には、ページ番号を付れたり、前の日のノートの続きにかかず毎 回新しい紙に書くようにすると良い。	編集の具体的方針(20) に基づく
	36	図	修正	全円分度器は完成図を載せる。 実際に切り取って使うとよい。	編集の具体的方針(4) に基づく
		図	修正	坂道分度器は作り方と、視覚障害者用分度器の図と完成図を載せた。分度器は、厚紙に貼るより箱に貼ったほうが置いてはかれるので使いやすい。  ①図48の分度器の図を切り取り、お菓子などの箱に貼る。 ②厚紙で直角二等辺三角形の「はり」をつくり、直角が下になるように置き、糸を直角の二等分するようにテープで留め、おもりをつける。 ③糸を、①の分度器の中心に合わせて裏からテープでとめる。 キューブ「分度器は、箱に貼り付けると置いてはかれるので便利だね。」	編集の具体的方針(4) に基づく
	39	絵	削除 修正	黒板の絵を削除し、内容を文章で以下のように表した。  黒板に次のように書いてあります。 32枚の色紙を、4人で同じ数ずつ分けます。1人分は何枚になりますか。 $32 \div 4 = 8$ 答え 8枚 先生「32枚を80枚に変えます。」 かな「色紙が80枚だと式は…。」	編集の具体的方針(4) に基づく
41	絵	削除 修正	黒板の絵を削除し、内容を文章で以下のように表した。  黒板に次のように書いてあります。 32枚のカードを、4人で同じ数ずつ分けます。1人分は何枚になりますか。 $32 \div 4 = 8$ 答え 8枚 先生「32枚を80枚に変えます。」 ともき「色紙が72枚になっても式は…。」	編集の具体的方針(4) に基づく	
43	筆算	削除 修正	筆算を削除し、珠算の計算の仕方に変更した。  72÷3の計算の仕方 わられる数の1番左のけたは7なので、7÷3を考える。2がたてられるので、7のふたつ左のけたに商2を入れる。 7から「2×3=6」の6を引く。 割られる数の残りは12なので、12÷3を考える。 4がたてられるので、12のすぐ左に商4をおく。	編集の具体的方針(16) に基づく	

4年 上			12から、 $4 \times 3 = 12$ の12を引く。 $12 - 12 = 0$ だから、あまりはない。 10の位の商2と1の位の商4で24 「 $72 \div 3 = 24$ 」		
	筆算	削除	ボールのセリフの後に、以下の文章と42ページの墨字の筆算の式を挿入した。  「筆算では、 $72 \div 3$ は、次のように書いて計算します。」	編集の具体的方針（4）に基づく	
	44	セリフ	修正	☆1のボールのセリフを、以下の文章に変更した。  「答えを確かめる計算を「検算」といいます。珠算編のわり算に出てくる「かけもどし」と同じだね。」	編集の具体的方針（4）に基づく
	45	筆算	削除 修正	練習問題2の、間違っている筆算の例を削除し、本文を以下のように変える。  下の計算は間違っています。正しく計算しましょう。 ① $74 \div 3 = 23$ あまり5 ② $94 \div 40 = 19$ あまり18	編集の具体的方針（16）に基づく
	46	筆算	削除 修正	今日の問題3は、筆算の形を削除し、本文を以下のように変更した。以下同じ。  次の計算の仕方を説明しましょう。 ① $86 \div 4 = 21$ あまり2 ② $62 \div 3 = 20$ あまり2 みほ「これまでの計算とちがうところは…」	編集の具体的方針（16）に基づく
		筆算	削除 修正	練習問題7は、筆算を削除し、以下のように修正した。  次の計算は間違っています。そのわけを説明して、正しく計算しましょう。 $81 \div 2 = 4$ あまり1	編集の具体的方針（16）に基づく
	47	筆算	修正	今日の問題4は、筆算を削除し、珠算の計算の仕方に変更した。  734 $\div$ 5の計算の仕方 わられる数の1番左のけたは7なので、7 $\div$ 5を考える。1がたてられるので、7のふたつ左のけたに商1をたてて、「 $1 \times 5 = 5$ 」の5を引く。 わられる数の残りの234のうち、左の2けたを23とみて、23 $\div$ 5を考える。23のすぐ左のけたに4をたてて「 $4 \times 5 = 20$ 」の20を引く。 残りの34 $\div$ 5で、34のすぐ左のけたに6をたてて、「 $6 \times 5 = 30$ 」の30を引く。 わられる数の残りは4になる。4はわる数の5よりも小さいので、あまりになる。 $734 \div 5 = 146$ あまり4	編集の具体的方針（16）に基づく
	48	筆算	削除 修正	今日の問題5は、筆算を削除し、以下のように修正した。	編集の具体的方針（16）に基づく

4年 上			次の計算の仕方を説明しましょう。 ① $843 \div 4 = 210$ あまり 3 ② $619 \div 3 = 206$ あまり 1		
	筆算	削除 修正	ひろきの筆算は削除、文章化した。  625÷3の計算の仕方 わられる数の1番左のけたは6なので、6÷3を考える。2がたてられるので、6のふたつ左のけたに商2をたてて、「 $2 \times 3 = 6$ 」の6を引く。 次のけたは2なので、3でわることができない。次のけたと合わせて25÷3を考える。25のすぐ左のけたに商8をたてて「 $8 \times 3 = 24$ 」の24を引く。 わられる数の残りは1になる。1はわる数の3よりも小さいので、あまりになる。 $625 \div 3 = 208$ あまり 1	編集の具体的方針(16)に基づく	
	49	絵	削除 修正	黒板の絵を削除。内容を文章で以下のように表した。  黒板に次のように書いてあります。 732枚の色紙を、4人で同じ数ずつ分けます。 1人分は何枚になりますか。 $732 \div 4 = 183$ 答え 183枚 先生「732枚を256枚に変えます。」 ともか「色紙が256枚になっても式は…。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	51	筆算	削除 修正	筆算を削除し、珠算の計算の仕方に変更した。  256÷4の計算の仕方 わられる数の1番左のけたの2は、4でわることができないので、次のけたとあわせて25÷4を考える。25のすぐ左のけたに商6をたてて、「 $6 \times 4 = 24$ 」の24を引く。残りは16 16÷4で、16のすぐ左のけたに商4をたてて「 $4 \times 4 = 16$ 」の16を引く。あまりは0。 $256 \div 4 = 64$	編集の具体的方針(16)に基づく
	55	計算	削除	☆1の、 $74 \div 2$ の式は文章を加える。  74を60と14に分けました。 $60 \div 2 = 30$ $14 \div 2 = 7$ 30と7を合わせて37 なので、 $74 \div 2 = 37$	編集の具体的方針(4)に基づく
	56	絵	削除 修正	地球の絵は削除。世界の計算の仕方は現行と同じに点図にした。	編集の具体的方針(4)に基づく
	57	問題	修正	練習問題1の文章を以下のように変更した。  次の計算をしましょう。問題の後に答えがあります。 テトラ「答えのところに印を付けよう。」 計算問題 答えには、ア. 12 イ. 12 あまり1のように記号を	編集の具体的方針(20)に基づく

4年 上	58	筆算	削除 修正	<p>つける。</p> <p>問題2の筆算の形を削除し、問題文を以下のように変更した。</p> <p>次の割り算で、商が百の位からたつのは□がどんな数字の時ですか。</p> <p>① <math>\square 20 \div 6</math></p> <p>② <math>543 \div \square</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく
		筆算	削除 修正	<p>問題4の筆算の形を削除し、問題文を以下のように変更した。</p> <p><math>745 \div 3</math> の計算を次のようにしました。この計算について次の(1)～(3)の問いに答えましょう。</p> <p><math>745 \div 3</math> の計算</p> <p>わられる数の1番左のけたは7なので、<math>7 \div 3</math>を考える。2がたてられるので、7のふたつ左のけたに商2をたてて、「<math>2 \times 3 = 6</math>」の6を引く。</p> <p>わられる数の残りの145のうち、左の2けたを(あ)14とみて、<math>14 \div 3</math>を考える。14のすぐ左のけたに商4をたてて「<math>4 \times 3 = 12</math>」の12を引く。</p> <p>残りは(い)25。</p> <p>残りの<math>25 \div 3</math>で、25のすぐ左のけたに商8をたてて、「<math>8 \times 3 = 24</math>」の24を引く。</p> <p>わられる数の残りは1になる。1はわる数の3よりも小さいので、あまりになる。</p> <p><math>745 \div 3 = 248</math>  あまり1</p> <p>(1) (あ)14はどんな数が14個あることを表していますか。</p> <p>(2) (い)25はどんな数が25個あることを表していますか。</p> <p>(3) けん算の式を書いて計算し、その答えが745になることをたしかめましょう。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
	60	絵	修正	<p>柵と門の絵は点図化して載せる。指導にあたっては、模型やマジックハンドなど触察可能なものを使うとイメージしやすい。本文を以下のように変更した。</p> <p>ひろし「柵や門のように、4本の直線が交わると四角形ができるね。」</p> <p>(柵の図を載せる)</p> <p>ようこ「柵の図には、直角が4つあるから、この四角形は長方形かな。」</p> <p>(中央の門の図を載せる)</p> <p>ゆうや「この門は、左右に伸びたり縮んだりするね。門の幅が広がった時にできる中央の四角形の4つの角は、ちょうど直角になっているね。」</p> <p>4本の直線の交わり方や並び方を変えると、どんな四角形ができるかな。次の図のようなカードに、点と点を結んで4本の線をひき、四角形を作ろう。</p> <p>(点のみのカードの図を載せる)</p> <p>(下の左の図を載せる)</p> <p>ともみ「直角のある四角形ができたよ。」</p> <p>(下の右の図を載せる)</p>	編集の具体的方針(4)に基づく

4年 上				ともき「この場合も四角形ができているね。」	
	61	問題	修正	下の学習のめあての文章を、以下のように変更した。  直線の交わり方について、直角があるか、ないかを調べていこう。	編集の具体的方針（19）に基づく
	62・63	写真	削除 修正	1から4の写真の手を削除し、三角定規と直線、点のみの図とした。5は写真を削除。6の写真を5とする。5は三角定規を削除し、出来上がりの図だけとする。解説の文は以下のように変更した。  1 （あ）の直線に三角定規を合わせる。 2 左側の三角定規をしっかり押さえながら、もう1枚の三角定規の直角のある辺を（あ）の直線に合わせる。 3 点Aに合うように右側の三角定規を動かす。 4 左手で2枚の三角定規をおさえて、右手でペンを持ち、三角定規をしっかり押さえながら、点Aを通る直線を引く。 5 点Aを通り、（あ）の直線に垂直な直線が引けた。	編集の具体的方針（4）に基づく
	63	写真	修正	デジ太のセリフを以下のように変更した。  「次の垂直な直線の引き方では、三角定規の直角の部分をもどどのように使っているかな。」	編集の具体的方針（4）に基づく
	66	写真	修正	写真を点図化し、文章を以下のように変更した。  線路がカーブしている部分や、陸上競技に使うトラックの、コースがカーブしているところのように、幅が等しくても、直線でなければ平行とはいいません。	編集の具体的方針（4）に基づく
	67	写真	削除 修正	写真を削除し、内容を文章で以下のように表した。  身の回りから、垂直や平行になっているものを探しましょう。例えば、靴箱の枠、蛍光灯、ノートの罫線、シャッター、はしご、本棚、肋木などをあげることができます。 みほ「垂直や平行なものがたくさんあるのはどうしてかな。」 たくみ「もし、本棚の棚が平行でなかったら…。」	編集の具体的方針（4）に基づく
	67	図	修正	「算数のおはなし」の図は、「平」と「行」のみ載せる。	編集の具体的方針（4）に基づく
	68	写真	修正	☆1の問題の「下の」を「平行な直線の引き方—1・2」に変更した。	編集の具体的方針（4）に基づく
	68・69	写真	削除 修正	p 62, 63と同様に手は削除して、三角定規と直線、点のみの図とした。6の図を5とし、三角定規を削除してできあがりの図だけとした。解説は4の「鉛筆」を「ペン」に変更した。	編集の具体的方針（4）に基づく
	71	本文	修正	今日の問題1の本文を以下のように変更した。  平行な直線の組の数に目をつけて、図44の①～⑨の四角形を次の3つの仲間に分けてみましょう。	編集の具体的方針（19）に基づく

4年 上			<p>(1) 平行な直線の組が1組  (2) 平行な直線の組が2組  (3) 平行な直線の組がない</p> <p>キューブ「平行な直線の組に、印を付けるとわかりやすいよ。」</p>	
73	本文	修正	<p>「算数新発見！」の文章を以下のように変更した。指導にあたっては、お菓子などの外箱を利用し、実際に平行四辺形のような形になることを確認できるとよい。</p> <p>長方形と平行四辺形は、似た特徴をもっています。次のような長方形の紙の枠を、上から押して少し斜めにつぶすと、平行四辺形を作ることができます。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
77	写真	削除 修正	<p>写真を削除し、本文とキューブのセリフを以下のように変更した。</p> <p>身の回りから、いろいろな四角形の形をしたものを探しましょう。例えば、サッカーゴールを横から見た形は台形です。また、茨城県日立市の遊園地には、図71のように、動いているところを横から見ると、平行四辺形の形になっている乗り物があります。他にも、金網のフェンスや四角いお菓子の箱などがあります。</p> <p>キューブ「身の回りの四角形にはどんなものがあるかな？他にも探してみよう。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	写真	削除 修正	<p>写真は削除。台形の解説の文は以下のように変更した。</p> <p>次の図のように、台形の仲間で、平行でない1組の辺の長さが等しい図形を、等脚台形というよ。例えば跳び箱を前から見た形などがあるね。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
78	絵	修正	<p>☆1の二人のセリフは点図化し、文章を追加した。</p> <p>みほ「2本の対角線が垂直に交わっているね」  たくみ「2本の対角線が、それぞれの真ん中の点で交わっているね。」</p>	編集の具体的方針(13)に基づく
79	表	削除 修正	<p>☆3の表を削除し、問題文を以下のように変える。</p> <p>次のあ。～お。の四角形について、対角線の特徴をまとめます。あとの①～③の特徴のどれかがいつでもあてはまる場合は、四角形の名前を書いた後にその番号を書いてまとめましょう。</p> <p>あ. 正方形  い. 長方形  う. 菱形  え. 平行四辺形  お. 台形</p> <p>①2本の対角線の長さが等しい  ②対角線が交わった点から4つの頂点までの長さがみんな等しい  ③2本の対角線が垂直である</p>	編集の具体的方針(20)に基づく

4年 上	80	図	修正	<p>図を切り取って使うことになっているが、図だけを 示し、厚紙で作って操作する問題文に変えた。</p> <p>2 次の図のような長方形や平行四辺形、ひし形を 厚紙でつくり、1本の対角線で2つに切り分けま しょう。それらを使っていろいろな四角形を作り ましょう。</p> <p>練習問題2 次の図のような菱形を厚紙でつくり、 2本の対角線で4つに切り分けましょう。それらを使 っているいろいろな四角形を作りましょう。</p>	編集の具体的方針(4) に基づく
	83	問題	削除 修正	<p>問題4の表を削除。問題文を以下のように変更し た。</p> <p>次のあ。～お。の四角形の名前を書きましょう。ま た、あとの①～⑥の特徴がいつでも当てはまる場合 は、四角形の名前の後に、その番号を書いてまとめ ましょう。(以下、①～⑤の四角形の特徴を書く)</p>	編集の具体的方針(19) に基づく
		図	削除 修正	<p>問題5の図にあるはさみを削除し、問題文を以下 のように変更した。</p> <p>次の図のように、長方形の紙の線BEを切って、直 角三角形を作ります。辺ABが辺DCと合うように並 べると、どんな四角形ができますか。</p>	編集の具体的方針(4) に基づく
	84	本文	削除 修正	<p>☆2の赤丸を削除。本文を以下のように変える。</p> <p>あ。の図で、りこの線の、こうた君より長い部分 は何を表していますか？</p> <p>☆3の本文を以下のように変える。</p> <p>あ。の図の□にあてはまる数はいくつですか。</p>	編集の具体的方針(19) に基づく
	86・87	絵	削除	<p>そろばんの絵は削除し、問題のみ載せる。</p> <p>珠算での計算は珠算編の「小数の足し算引き算」を使 って学習します。</p>	編集の具体的方針(4) に基づく
	88	絵	削除 修正	<p>日本地図の絵は削除し、文で表した。</p> <p>北海道 5474216 人 東京都 12699271 人 山梨県 855746 人 大阪府 8679933 人</p>	編集の具体的方針(4) に基づく
		表	削除	<p>表を削除し、文だけにした。</p> <p>日本の人口を書いて、読んでみよう。</p>	編集の具体的方針(4) に基づく
	89	絵	削除 修正	<p>絵を削除し、文で表した。</p> <p>日本の人口 126659683 人 世界の人口 6896000000 人</p>	編集の具体的方針(4) に基づく
	90	表	修正	<p>表を以下のように修正した。</p> <p>1億の10倍は10億 10億の□倍は100億 100億の□倍は1000億</p>	編集の具体的方針(4) に基づく

4年 上			以下同じ		
	91	本文	修正	まとめの文の、4けたごとに区切る所は、数字を上 に、万・億・兆の文字は下を書いて表す。	編集の具体的方針（4） に基づく
	93	表、 他	修正	「算数新発見！」の表、レシートを文章化した。  本文→レシート→都道府県別の人口→英語と日本語 の位取りの対比の順で載せる。 レシートは「レシートなどには 合計1,029 円、お 預かり1,030 円のように書いてある。」 表はそのまま 英語の位取りの表は、以下のように変更した。 英語の位取りは、次の通りです。 1                   ワン 10                  テン   以下同じように1億まで	編集の具体的方針（4） に基づく
	94	表	修正	ゆみのセリフを文章化した。  ゆみ「25を10倍すると250になるから…」	編集の具体的方針（4） に基づく
	95	図	削除	図10のカードの絵を点図にした。	編集の具体的方針（4） に基づく
		表	修正	「算数のおはなし」の数の名称は、名前のみを書く。	編集の具体的方針（4） に基づく
	96	セリ フ	修正	たくみのカードの絵を省略し、☆1の本文に入れ込 む  たくみさんは365と148をつくりました。365×148を 計算しましょう。	編集の具体的方針（4） に基づく
		筆算	削除 修正	☆2の文を以下のように変える。  ☆1のように3ケタをかける計算では、百の位をか けた結果を、一の位をかけた結果から2桁左へずらし て入れます。そのわけを説明しましょう。 かおり「数が大きくなっても、計算のしかたは同じ だね。」  筆算の場合に考えられる問題であることを説明し て、珠算について指導するのがよい。	編集の具体的方針（16） に基づく
	97	図	削除 修正	☆3のカードの絵を削除し、本文に入れ込む。 筆算は削除。784と503のカード順番を変え、筆算と同 じように、0×784の計算が入るようにした。  しんじさんは、503と784の数をつくりました。503× 784の計算をつぎのように工夫しました。 一の位は3なので、3×784の計算をします。 十の位は0なので計算しません。 百の位の計算5×784をします。 503×784=394352 しんじさんは、どんな工夫をしたのでしょうか。 ここでは筆算での工夫点について、軽く触れておくと よい。	編集の具体的方針（16） に基づく
		筆算	削除	今日の問題2の筆算の図は省略。みほの考えのみを 書く。	編集の具体的方針（16） に基づく

4年 上	98	筆算	削除 修正	<p>問題3の筆算を削除し、問題を<math>703 \times 481</math>に変更した。</p> <p>次の計算は間違っています。そのわけを説明して正しく計算しましょう。</p> $703 \times 481 = 35113$ <p>筆算と同じように、<math>0 \times 481</math>の計算が入る形に変えた。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
	100	絵	削除 修正	<p>黒板と人物の絵を削除した。</p> <p>上の黒板の上の文章を以下のように変更した。</p> <p>あ。<math>20 \times \square</math>の式で、次の①、②のときに、<math>\square</math>に当てはまる整数を求めよう。</p> <p>下の黒板の上の文章を2つに分ける。い。の文章→③④→たくみのせりふ。次に、う。の文章→⑤⑥→ゆみのせりふの順に載せる。下の黒板の上の文章は以下のように変更した。</p> <p>い。<math>30 \times \square</math>の式で、次の③、④のときに、<math>\square</math>に当てはまる整数を求めよう。</p> <p>う。<math>40 \times \square</math>の式で、次の⑤、⑥のときに、<math>\square</math>に当てはまる整数を求めよう。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	101	絵・ 本文	削除 修正	<p>黒板の絵を削除し、その内容を文章で以下のように表した。</p> <p>黒板に次のように書いてあります。</p> <p>色紙が60枚あります。この色紙を1人に5枚ずつ分けると、何人に分けられますか。</p> $60 \div 5 = 12$ <p>答え 12人</p> <p>先生「5枚を20枚に変えます。」</p> <p>ゆたか「わる数が1けたから2けたになった。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	103	絵	削除 修正	<p>黒板の絵を削除し、その内容を文章で以下のように表した。</p> <p>黒板に次のようにかいてあります。</p> <p>色紙が<math>\square</math>枚あります。この色紙を一人に<math>\square</math>枚ずつ分けると、何人に分けられますか。</p> <p>先生「色紙の数を84、1人分の数を21にします。」</p> <p>けんじ「式は・・・。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	104	本文	修正	<p>☆3のたくみのセリフを以下のように変える。</p> <p>たくみの考え</p> $84 \div 20 \text{で考える。}$ $20 \times 3 = 60 \text{ なので } 60 < 84$ $20 \times 4 = 80 \text{ なので } 80 < 84$ $20 \times 5 = 100 \text{ なので } 100 > 84$ <p>となるから、答えに5をたてると<math>20 \times 5 = 100</math>で、84より大きくなるから、商は4。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
		筆算	削除 修正	<p>☆4の筆算を削除し、珠算の計算の仕方に変更した。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく

4年 上			<p>84÷21の計算の仕方 割られる数の十の位は8、わる数の十の位は2。 8÷2とみて、8のふたつ左のけたに商4をたてる。 「4×2=8」の8を引く。 残りの4から「4×1=4」の4を引く。 あまりはなし。 84÷21=4 珠算での計算は珠算編の「割り算」を使って学習します。</p>	
	105	筆算 削除 修正	<p>練習問題1の筆算は削除し、そろばんの答えの1の位の位置が正しいものと間違っているものに変更した。</p> <p>76÷23の計算をしました。答えが正しいのはどちらですか。 わられる数の十の位は7、わる数の十の位は2。7÷2とみて、7のふたつ左のけたに商3をたてます。 「3×2=6」の6を引きます。 「3×3=9」の9を、1けた下げて引きます。 残った7は、わる数の23よりも小さいので、あまりになります。 答え (1) 2けたの数で割るわり算では、わられる数の1の位から2けた左が答えの1の位になるので、 76÷23=30 あまり 7 (2) 2けたの数で割るわり算では、わられる数の1の位から3けた左が答えの1の位になるので、 76÷23=3 あまり 7</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
	105	筆算 削除 修正	<p>「算数新発見！」の左の筆算は削除。その他の文章を以下のように変更した。</p> <p>84÷21の、商の見当のつけ方について考えます。 しんじさんは、たくみさんの商の見当のつけ方を見て、次のように思いました。 しんじ「21を20とみただけで、商の見当をつけるのは難しいな。」 84÷21の商の見当をつけるとき、かおりさんとひろきさんは、次のように考えました。 かおり「84を80とみる。21は20とみるから、84÷21の計算は80÷20になります。 80÷20=4 だから、商は4。」 ひろき「84を90とみる。21は20とみるから、84÷21は90÷20になります。 90÷20=4 あまり10 だから、商は4。」 このように、わられる数とわる数の両方を、何十の数とみると、商の見当をつけやすくなることがあります。 テトラ「自分のやりやすいしかたを見つけよう。」</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
106	筆算 削除 修正	<p>今日の問題2の筆算を削除し、珠算の計算の仕方に変更した。見当をつけた商が違った時、珠算では初めからやり直さずに途中だけを変更して計算を進めるや</p>	編集の具体的方針(16)に基づく	

4年 上			<p>り方もあるが、ここでは商を立て直し、始めから計算しなおす形にした。(以下の計算も同じ)</p> <p>86÷23 の計算のしかた 割られる数の十の位は8、わる数の十の位は2。8÷2とみて、8のふたつ左のけたに商4をたてます。「4×2=8」の8を引きます。 残りの6から「4×3=12」の12を引くことができないので、商を3にして、始めから計算します。「3×2=6」の6を引きます。 残りの26から、「3×3=9」の9を引きます。 残った17はわる数の23より小さいので、あまりになります。 86÷23=3 あまり 17</p>	
	筆算	削除 修正	<p>今日の問題3の筆算を削除し、珠算の計算の仕方に変更した。</p> <p>81÷12 の計算の仕方 割られる数の十の位は8、わる数の十の位は1。8÷1とみて、8のふたつ左のけたに商8をたてます。「8×1=8」の8を引きます。 残りの1から「8×2=16」の16を引くことができないので、商を7にして、はじめから計算します。「7×1=7」の7を引きます。 残りの11から「7×2=14」の14を引くことができないので、商を6にして、はじめから計算します。「6×1=6」の6を引きます。 残りの21から「6×2=12」の12を引きます。 残った9はわる数の12より小さいので、あまりになります。 81÷12=6 あまり 9</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
	107	筆算	削除 修正	<p>今日の問題4の筆算を削除し、珠算の計算の仕方に変更した。</p> <p>78÷19の計算のしかた 割る数の19を20とみます。 割られる数の十の位は7、割る数の十の位は2。 7÷2とみて、7のふたつ左のけたに商3をたてます。 「3×1=3」の3を引きます。 残りの48から「3×9=27」の27を引きます。 残った21は、わる数の19よりも大きいことから、商が小さすぎたことが分かりました。なので、商を4にしてもう1度計算しなおします。 「4×1=4」の4を引きます。 残りの38から「4×9=36」の36を引きます。 残った2は、わる数の19より小さいので、あまりになります。 78÷19=4 あまり 2</p>
	筆算	削除	ゆみのセリフの筆算の形は削除	編集の具体的方針(16)に基づく

4年上	筆算	削除 修正	<p>練習問題5の筆算は削除し、問題文を以下のように変更した。</p> <p>76÷18の計算をしたら、答えが3あまり22になりました。</p> <p>この計算は間違っています。そのわけを説明して正しく計算しましょう。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
108	筆算	削除 修正	<p>今日の問題5の、かおりとひろきの筆算を削除し、珠算の計算の仕方に変更した。</p> <p>87÷25の計算の仕方考えましょう。</p> <p>(かおりの考え)</p> <p>25を20と見て、<math>8 \div 2 = 4</math>。かりの商を4としました。</p> <p>「<math>4 \times 2 = 8</math>」の8を引きます。</p> <p>残りの7から、「<math>4 \times 5 = 20</math>」の20を引くことができないので、商を3にして、はじめから計算します。</p> <p>「<math>3 \times 2 = 6</math>」の6を引きます。</p> <p>残りの27から、「<math>3 \times 5 = 15</math>」の15を引きます。</p> <p>残った12はわる数の25より小さいので、あまりになります。</p> <p><math>87 \div 25 = 3</math>  あまり12</p> <p>(ひろきの考え)</p> <p>25を30と見て、<math>8 \div 3</math>。かりの商を2としました。</p> <p>「<math>2 \times 2 = 4</math>」の4を引きます。</p> <p>残りの47から、「<math>2 \times 5 = 10</math>」の10を引きます。</p> <p>残った37は、わる数の25よりも大きいことから、商が小さすぎたことが分かりました。なので、商を3にしてはじめから計算します。</p> <p><math>87 \div 25 = 3</math>  あまり12</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
109	筆算	削除 修正	<p>今日の問題6の筆算を削除し、珠算の計算の仕方に変更した。</p> <p>153÷24の計算のしかた</p> <p>1番左のけたの1は、2でわることができないので、次のけたと合わせて<math>15 \div 2</math>を考えて、かりの商を7とします。</p> <p>「<math>7 \times 2 = 14</math>」の14を引きます。</p> <p>残りの13から、「<math>7 \times 4 = 28</math>」の28を引くことができないので、商を6にして、はじめから計算します。</p> <p>「<math>6 \times 2 = 12</math>」の12を引きます。</p> <p>残りの33から、「<math>6 \times 4 = 24</math>」の24を引きます。</p> <p>残った9はわる数の24より小さいので、あまりになります。</p> <p><math>153 \div 24 = 6</math>  あまり9</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
111	筆算	削除 修正	<p>筆算を削除し、珠算の計算の仕方に変更した。</p> <p>345÷21の計算のしかた</p> <p>わられる数の1番左のけたは3、わる数の1番左のけたは2なので、<math>3 \div 2</math>を考え、商に1をたてる。</p> <p>「<math>1 \times 2 = 2</math>」百の位の3から2を引く。</p> <p>「<math>1 \times 1 = 1</math>」十の位の4から1を引く。残りは135。</p> <p>1番左のけたの1は、2でわることができないので、次のけたと合わせて<math>13 \div 2</math>を考えて、商に6をたてる。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく

4年 上			<p>「<math>6 \times 2 = 12</math>」百の位と十の位の13から12を引く。  「<math>6 \times 1 = 6</math>」15から6を引いて9。  <math>345 \div 21 = 16</math> 余り9</p>	
	112	筆算 削除 修正	<p>今日の問題2の、ゆみとしんじの筆算を削除し、珠算の計算の仕方に変更した。  今日の問題2 <math>941 \div 23</math>、<math>960 \div 16</math>の計算のしかたを工夫しましょう。  ゆみは<math>941 \div 23</math>の計算をしました。  わられる数の百の位の9とわる数の十の位の2で<math>9 \div 2</math>とみて、商4をたてます。  「<math>4 \times 2 = 8</math>」百の位の9から8を引きます。  「<math>4 \times 3 = 12</math>」百の位と十の位の14から12を引きます。残りは21。  21はわる数の23より小さいので一の位の商は0。  <math>941 \div 23 = 40</math> 余り21  しんじは<math>960 \div 16</math>の計算をしました。  十の位の商に6をたてました。  「<math>6 \times 1 = 6</math>」百の位の9から6を引きます。  「<math>6 \times 6 = 36</math>」百の位と十の位の36から36を引きます。残りは0。  わられる数が0になったので一の位の商は0  商は60 余りはなし。  <math>960 \div 16 = 60</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく
		セリフ 修正	<p>テトラのセリフを以下のように変える。  テトラ「商に0のたつ割り算は、0を忘れないように気をつけよう。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	113	絵 削除 修正	<p>授業の絵を削除、修正した。  先生「商が4になる割り算を探しましょう。」  みほ「<math>24 \div 6 = 4</math>」  ともき「<math>4 \div 1 = 4</math>」  まゆみ「<math>8 \div 2 = 4</math>」  のぞみ「<math>240 \div 60 = 4</math>」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
113	式 修正	<p>今日の問題1の矢印の入っている式を文章化した。  (1) <math>4 \div 1 = 4</math>  (2) <math>8 \div 2 = 4</math>  (3) <math>24 \div 6 = 4</math>  (4) <math>240 \div 60 = 4</math></p> <p>(ひろきの考え)  (1) <math>4 \div 1 = 4</math>と(2) <math>8 \div 2 = 4</math>をくらべると、わられる数が2倍になっています。わる数は□倍になっています。  (1) <math>4 \div 1 = 4</math>と(3) <math>24 \div 6 = 4</math>をくらべると、わられる数6倍になっています。わる数は□倍になっています。  (2) <math>8 \div 2 = 4</math>と(3) <math>24 \div 6 = 4</math>をくらべると、わられる数が3倍になっています。わる数は□倍になっています。  (3) <math>24 \div 6 = 4</math>と(4) <math>240 \div 60 = 4</math>をくらべると、わられる数が10倍になっています。わる数は□倍になっています。</p>	編集の具体的方針(20)に基づく	

4年 上			<p>(みほの考え)  (4) <math>240 \div 60 = 4</math> と (3) <math>24 \div 6 = 4</math> をくらべます。  (4) のわられる数240 を10でわると (3) のわられる数24になります。  (4) のわる数60を□でわると (3) のわる数6になります。  (3) <math>24 \div 6 = 4</math> と (2) <math>8 \div 2 = 4</math> をくらべます。  (3) のわられる数24を3でわると (2) のわられる数8になります。  (3) のわる数6を□でわると (2) のわる数2になります。  (2) <math>8 \div 2 = 4</math> と (1) <math>4 \div 1 = 4</math> をくらべます。  (2) のわられる数8を2でわると (1) のわられる数4になります。  (2) のわる数2を□でわると (1) のわる数1になります。</p>	
114	筆算	修正	<p>今日の問題2の、たくみとゆみのセリフを文章化した。  たくみの考え「<math>24000 \div 500 = 240 \div 5 = 48</math>」  ゆみの考え「100をもとにすると、<math>24000 \div 500</math>のわられる数は<math>24000 \div 100 =</math> (あ)、<math>500 \div 100 =</math> (い) だから、(あ) <math>\div</math> (い)」</p>	編集の具体的方針 (16) に基づく
	筆算	削除 修正	<p>今日の問題3の、しんじとかおりの筆算を削除し、文章化した。  しんじの考え  わられる数 2700とわる数 400をそれぞれ100 で割って 27 と 4 にして計算しました。  <math>2700 \div 400 = 27 \div 4 = 6</math> あまり 3  かおりの考え  しんじ君と同じように計算しましたが、あまりは100倍しました。  <math>2700 \div 400 = 27 \div 4 = 6</math> あまり 300</p>	編集の具体的方針 (16) に基づく
116	筆算	削除 修正	<p>問題1のひろきの筆算を削除し、以下のように変更した。  ひろきの考え  32 を30 と見ると、十の位に商2がたつ。  「<math>2 \times 3 = 6</math>」百の位の6から6を引く。  「<math>2 \times 2 = 4</math>」  十の位の2から4は引けないから…。</p>	編集の具体的方針 (16) に基づく
	筆算	削除 修正	<p>問題2の筆算の形を削除し、珠算の計算の間違いに  変更した。  次の計算は間違っています。そのわけを説明して、  正しく計算しましょう。  (1) <math>97 \div 24</math> の計算をする。商4を、十の位にたてる。  「<math>4 \times 2 = 8</math>」9から8を引いて <math>9 - 8 = 1</math> 残りは 17  <math>97 \div 24 = 40</math> あまり 17  (2) <math>583 \div 19</math> の計算をする。見当をつけた商2を十の位にたてて計算すると、残りは203になる。  <math>203 \div 19</math> の計算をする。一の位の商に9をたてる。  計算をすると、あまりは 32になる。  <math>583 \div 19 = 29</math> あまり 32  (3) <math>829 \div 27</math> の計算をする。見当をつけた商3を、一の位にたてる。  計算をすると、残りが19になる。商は 3あまり19</p>	編集の具体的方針 (16) に基づく

4年 上			829÷27=3あまり19		
	117	図	修正	問題1の図は、縦横2倍の大きさにして点図化した。①の図は横半分の図にした。	編集の具体的方針(4)に基づく
		図	修正 削除	問題2の①の図は、コンパスの絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	118	絵	削除 修正	絵は削除し、文章を以下のように変更した。 1. から4. の場面で(あ)、(い)の数を比べてみよう。 1. (あ) 本の代金は1500円でした。 (い) 貯金箱の中には1500円くらい入っています。 2. (あ) フットサルの試合時間は、前半、後半それぞれ20分です。 (い) 家から学校までは、歩いてほしい20分かかります。 3. (あ) 競技場のトラックは1周400mです。 (い) 家からポストまでの道のりはほしい400mです。 4. (あ) 私の住んでいるA町の人口は昨年20000人をこえました。 (い) 今日のマラソン大会では、およそ20000人の人が走りました。 りく「(あ)の数は、どれもきっちりした数だけど…。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	121	式	修正	「マメちしき」の矢印の入った式を文章化した。次の4つの数を見てみましょう。 (1) 1263は、切り捨てると1000、切り上げると2000 (2) 1825は、切り捨てると1000、切り上げると2000 (3) 1001は、切り捨てると1000、切り上げると2000 (4) 1999は、切り捨てると1000、切り上げると2000 四捨五入が定着途中と考えられる場合は、混乱することがあるので取り扱う時期を考慮する。	編集の具体的方針(4)に基づく
124	セリフ	修正	☆1のテトラのセリフを以下のようにした。 テトラ「四捨五入すると、123は120に、124は120に、125は130になる。」	編集の具体的方針(19)に基づく	

4年 上	126・ 127	絵	削除 修正	<p>絵は削除し、文章化した。</p> <p>はなさんは、兄さん、お母さんとスーパーマーケットで買い物をしています。</p> <p>お菓子売り場 チョコレート 89 円    せんべい 189 円    ポテトチップス 172 円    グミ 96 円    クッキー 137 円</p> <p>はな「おかしを買おう。」</p> <p>文房具売り場 ノート 145 円    マーカーペン 428 円    定規セット 670 円    コンパス 290 円    色紙 175 円</p> <p>兄さん「ノート、コンパス、マーカーペンを買わないと…。」</p> <p>日用品売り場 歯磨き 246 円    シャンプー 518 円    リンス 518円 洗剤 375 円    トイレットペーパー 378 円</p> <p>おかあさん「1000 円以上買うと駐車料金が無料になるわ。」</p>	編集の具体的方針（4） に基づく																								
	126	絵・ 写真	削除	<p>今日の問題1の絵と写真を削除した。以下同じ</p> <p>はな 「だいたいいくらかな。」</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">ポテトチップ</td> <td style="text-align: center;">せんべい</td> <td style="text-align: center;">クッキー</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">172</td> <td style="text-align: center;">189</td> <td style="text-align: center;">137</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">=500</td> </tr> </table>	ポテトチップ	せんべい	クッキー				172	189	137				↓	↓	↓				200	+	200	+	100	=500	編集の具体的方針（4） に基づく
ポテトチップ	せんべい	クッキー																											
172	189	137																											
↓	↓	↓																											
200	+	200	+	100	=500																								
	128	式	修正	<p>☆1の矢印を横向きにして以下のように変える。</p> <p><math>620 \times 39 \rightarrow 600 \times 40 = \square</math></p>	編集の具体的方針（4） に基づく																								
		キャラ クター	削除	<p>電卓マークは（音声電卓）とした。以下同じ</p>	編集の具体的方針（4） に基づく																								
	129	式	削除 修正	<p>☆3の矢印を横向きにして以下のように変える。</p> <p><math>38220 \div 39 \rightarrow 40000 \div 40 = \square</math></p>	編集の具体的方針（4） に基づく																								
	130	写真	削除 修正	<p>問題3の写真は削除、文章を以下のように変える</p> <p>472 円のはさみと148 円のボールペンと290 円のコンパスを買うとき、3人は次のように考えました。それぞれの考えに合う計算はどれですか。下の㉞～㉟の式から選びましょう。</p> <p>ボール「訳も説明しよう。」</p> <p>かおり「代金の合計は、だいたいいくらかな。」</p> <p>ひろき「代金の合計の金額は正しいかな。」</p> <p>みほ「1000 円で足りるかな。」</p> <p>㉞ <math>470 + 150 + 290</math></p> <p>㉟ <math>472 + 148 + 290</math></p> <p>㊱ <math>500 + 100 + 300</math></p> <p>㊲ <math>500 + 200 + 300</math></p>	編集の具体的方針（4） に基づく																								
	133	筆算	削除 修正	<p>キの問題は、筆算の形を削除し、問題文を以下のように変更した。</p> <p>① <math>56 \div 5 = 10</math> あまり 6</p> <p>② <math>62 \div 2 = 3</math> あまり 2</p>	編集の具体的方針（16） に基づく																								

4年 上	筆算	削除 修正	クの問題は、筆算の形を削除し、以下のような□の位置を変えた計算問題に修正した。  □に数字を入れ、正しい式と答えを作りましょう。 $974 \div \square = 24 \square \text{あまり } 2$	編集の具体的方針(16)に基づく
137	筆算	削除 修正	ネの問題は、筆算の形を削除し、以下のような□の位置を変えた計算問題に修正した。  □に数字を入れ、正しい式と答えを作りましょう。 ① $4 \square 9 \div \square 7 = 7$ ② $\square 9 7 \div 3 \square = 8 \text{あまり } 1$	編集の具体的方針(16)に基づく
	筆算	削除 修正	ハの問題は、筆算の形を削除し、以下のような□の位置を変えた計算問題に修正した。  □に数字を入れ、正しい式と答えを作りましょう。 ① $6 4 \square \div 1 4 = \square 6 \text{あまり } 2$ ② $7 4 1 \div \square 5 = 2 \square \text{あまり } 16$	編集の具体的方針(16)に基づく
141	式	修正	問題3の矢印の入った式を問題文に入れながら、文章化した。  次のように、わられる数のそれぞれの位の数の和が3でわりきれるとき、その数も必ず3でわりきれます。例えば、 $87 \div 3$ の式は、わられる数87の8と7をたすと15、15を3で割ると、 $15 \div 3 = 5$ で、3でわりきれます。よって、87は3で割り切れます。実際に計算すると、 $87 \div 3 = 29$ で、わりきれます。面白い性質ですね。この性質を使って、次の式はわりきれるか調べましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく
143	絵	削除 修正	エジプトの数字を点図にした。  表面作図器を用いたり、エジプトの数字カードを作成したりするなどの工夫が考えられる。	編集の具体的方針(4)に基づく
144	絵	削除 修正	問題2の筆算の形を削除し、問題を以下のように変更した。  □に数字を入れ、正しい式と答えを作りましょう。 ① $159 \square \div 6 \square = 23 \text{あまり } 28$ ② $554 \square \div 97 = 57 \text{あまり } \square 7$ ③ $1445 \div \square 6 = 25 \text{あまり } 4 \square$ ④ $48 \square 5 \div 4 \square = 108 \text{あまり } 5$ ⑤ $1 \square 07 \div 90 = 17 \text{あまり } \square 7$ ⑥ $10 \square 2 \div 28 = \square 9 \text{あまり } 0$	編集の具体的方針(4)に基づく
146	問題	修正	①の式を、以下の文章に変更した。  $14 \div 3 = 4 \text{あまり } 2$ この式の、14はわられる数、3はわる数という。あまりは、わる数より小さくする。	編集の具体的方針(19)に基づく

4年 上	問題	修正	<p>②の文章と式を、以下のように変更した。</p> <p>=の記号を等号という。 また、&lt;の記号を不等号という。 等号や不等号は、数や式の大小などの関係を表す。 (同じ) = (同じ) (小) &lt; (大) (大) &gt; (小)</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
	問題	削除 修正	<p>⑥の問題の表を削除。以下の文章に変更した。</p> <p>25の10倍は250 250の10倍は2500 2500の10分の1は250 250の10分の1は25</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
	問題	削除 修正	<p>⑦の筆算を削除し、珠算での計算の仕方に変更した。</p> <p><math>312 \times 23 = 7176</math> 計算の仕方 計算の順序は、<math>2 \times 23</math>、<math>10 \times 23</math>、<math>300 \times 23</math> の順に足す。 はじめに、<math>2 \times 23</math> のうち、<math>2 \times 20</math> を計算する。かけられる数の2を覚えてから払い、2つ右のけたに4を入れる 次に、<math>2 \times 3</math> を計算する。<math>2 \times 20</math> の時より一つ右のけたを1の位として6を足す。 次は、<math>10 \times 23</math> をそろばん上では<math>1 \times 23</math> とみて計算する。さきに<math>1 \times 20</math> を計算して、1を払ってからふたつ右のけたに2を足す。 次に<math>1 \times 3</math> を計算して、<math>1 \times 20</math> の時より一つ右のけたを1の位として3を足す。 次は<math>300 \times 23</math> をそろばん上では<math>3 \times 23</math> とみて計算する。先に<math>3 \times 20</math> を計算して、3を払ってからふたつ右のけたに6を足す。 次に<math>3 \times 3</math> を計算して、<math>3 \times 20</math> の時より一つ右のけたを1の位として9を足す。 答えの1の位は、かけられる数を置いた数の1の位から3ケタ右に移る。 答えは7176。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
4年 下	2	絵	削除 修正	ハンバーガーショップの絵を削除し、以下のように文章化した。  はるなさんは500円玉を持って、ハンバーガーショップに買い物に行きました。メニューは次の通りです。 ハンバーガー 120円 チーズバーガー 140円 てりやきバーガー 190円 ホットドック 170円 パンケーキ 210円 アイスクリーム 100円 ポテト小 150円 ポテト中 220円 ポテト大 260円 ジュース小 160円 ジュース中 180円 ジュース大 200円 はるな「チーズバーガーとパンケーキを1つずつください。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	7	記号	修正	■, ●, ▲の式は■を(ふ), ●を(む), ▲を(ま)に変えて表した。 (ふ), (む), (ま)は文字の式での x, y, z を意識して使用した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	9	絵	修正	黒板の絵は削除し、以下のように文章化した。  $3 \times 6 = 18$ の6を10倍すると, (1) $3 \times 60 = 180$ になり, 答えは□倍になります。 $3 \times 6 = 18$ の3を10倍, 6を10倍すると(2) $30 \times 60 = 1800$ になり, 答えは□倍になります。	編集の具体的方針(4)に基づく
	9	式	修正	矢印の入った式を文章化した。  (1) $6 \times 35$ の計算をします。 $6 \times 7 = 42$ のかける数を□倍すると $6 \times 35$ となり, 答えは□倍になります。 (2) $6 \times 70$ の計算をします。 $6 \times 7 = 42$ のかける数を□倍すると $6 \times 70 = \square$ となり, 答えは□倍になります。	編集の具体的方針(4)に基づく
	11	絵	修正	おぼえているかな? 4の図について, あ, い, うの色分けは点の種類を変えて塗りつぶし, 下部に凡例を入れた。	編集の具体的方針(4)に基づく
	12	絵	削除 修正	子どもが布を広げている絵は削除し, 図1, 2と文章で示した。 子ども達が布(あ)と(い)の端を持って広げています。(図1)重ねて広さを比べました。どちらが広いでしょう。 今度は布(う)と(え)を(図2)のようにテーブルの上に広げました。どちらが広いでしょう。	編集の具体的方針(4)に基づく

4年 下	12	絵	削除 修正	陣取りゲームをしている絵は削除した。本文を以下のように修正した。  図3の図で陣取りゲームをしています。 (ルール) (1)じゃんけんをして、好きなかどを選び、自分のじん地とする。 (2)じゃんけんで勝ったら、自分のじん地の隣のマスに1個に印を付ける。 (3)印を付けた広さが広い方が勝ち。 塗りつぶすところは印を付けたたり、クレヨンなどを使ったりするなど工夫が考えられる。	編集の具体的方針(4)に基づく
	13	文と 絵	修正	広さ比べの図は以下のようにした。人物に名前を付けた。  次ページの図4は、4人でゲームをした結果です。 ゆたか「(い)は、一番せまそうだな。」 テトラ「どの陣地が一番広いかな。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	13	文と セリフ	修正	文の順番とボールのセリフを変更した。 □1 (あ)～(え)の4つの陣地の広さを比べましょう。 ボール「前のページの図を実際に紙に写して、広さを比べよう。」 ☆1 2人の考えを説明しましょう。	編集の具体的方針(19)に基づく
	14	図	修正	図7を以下のように修正した。  太線は中点、細い線を小点とし、(あ)～(え)は分かりやすいように離して書く。	編集の具体的方針(4)に基づく
	14	写真	削除 修正	cm <sup>2</sup> の書き方は省略した。形を知るために囲みの下に以下の文を入れた。以下同じ。  墨字では「1 cm <sup>2</sup> 」と書きます。	編集の具体的方針(4)に基づく
	14	写真	修正	1 cm <sup>2</sup> の□は点図にし、以下の文を加えた。 キューブ「1 cm <sup>2</sup> は人差し指の先と同じ大きさだよ。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	15	図と 文	追加 修正	△1 格子線は裏点、(か)、(き)、(く)、(け)、(こ)の図は輪郭を中点にし、「(き)の縦の長さは0.5 cm(5 mm)」を追加した。また、問題文は以下のように変更した。  △1 次の図9の(き)、(く)、(け)、(こ)の面積について考えましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく
	15	セリフの 図	修正	たくみのセリフを以下のように修正した。  たくみくんの考え 図10のように(き)は、(か)を半分に分けて…。 図10	編集の具体的方針(19)に基づく
	16	図	修正	格子線は小点、長方形、正方形は枠を中点にした。	編集の具体的方針(4)に基づく
	16	図	修正	長方形の図は塗りつぶしなし。	編集の具体的方針(4)に基づく

4年 下	17	式	修正	<p>□の式を以下のように修正した。</p> <p>(あ) <math>\square \times (\text{い}) \square = (\text{う}) \square</math>  <math>1 \text{ cm}^2</math>の正方形の数で考えると、  (縦の数) <math>\times</math> (横の数) = (全部の数)  テトラ「長方形の縦, 横に並ぶ <math>1 \text{ cm}^2</math>の正方形の数と辺の長さを表す数が同じだね。」  (縦の数) <math>\times</math> (横の数) = (面積)</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	18	絵	削除	<p>△1の絵はがきと折り紙の絵は削除した。  実際に絵はがきと折り紙を使用して指導するとよい。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	18	問題と方眼	削除 修正	<p>△5 ノートの絵は削除し, 問題を以下のように修正した。</p> <p>△5 面積が <math>12 \text{ cm}^2</math>のいろいろな長方形を書き, たてと横の長さを測ってみましょう。  キューブ「<math>1 \text{ cm}^2</math>の正方形を12枚使って面積が <math>12 \text{ cm}^2</math>のいろいろな長方形を作りましょう。」  指導の際は, 薄い紙ではなく, 厚紙, または <math>1 \text{ cm}^2</math>のブロックを使用してもよいでしょう。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	19	本文	修正	<p>以下のように修正した。</p> <p>□2 次の図18のような形の面積を求めましょう。</p> <p>図18  ☆どのようにすれば, 図18のような形の面積を求めることができるか考えよう。  →まず自分で考えてみよう。  今まで学習したことで使えることはないかな。  しんじ「長方形や正方形の面積なら求められるけど…。」  ☆1 自分で考えた求め方を, 図や式を使って書きましょう。  →自分の考えを書き表そう。  他の人が見ても分かるかな。  ボール「同じ形を作って考えよう。」  しんじさんの考え 図と式  デジタ「いろいろな考えがありそうだね。」  →1つできたら, 別の求め方を考えてみよう。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	20, 21	絵	削除 修正	<p>黒板の絵は削除して, 内容を文章で以下のように表した。</p> <p>みほさんたちは, 友達の考えを説明しています。  みほさんはたくみさんの考えを, しんじさんはかおりさんの考えを, ひろきさんはゆみさんの考えを説明しています。  たくみさんの考えは次の図20のようです。</p> <p>図20  ひろきさんの考えを見ながら, みほさんは「たくみさんの考えは, GとEを結ぶ直線で…」と思いません。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく

4年 下			<p>かおりさんの考えは  <math>4 \times 6 - 2 \times 3</math>  <math>= 24 - 6</math>  <math>= 18</math>          答え <math>18 \text{ cm}^2</math>          ゆみさんは図 21 のように考えました。          図 21          ゆみさんの式は次のようです。  <math>(2 + 4) \times 3</math>  <math>= 6 \times 3</math>  <math>= 18</math>          答え <math>18 \text{ cm}^2</math>          → 友達の考えを知ろう。          図や式から、友達の考えがわかるかな。          ☆2 たくみさんの図を見て、たくみさんの考えを式に表しましょう。          ☆3 かおりさんの式を見て、かおりさんの考えを説明しましょう。          テトラ「同じ形の図を作って考えよう。」          ☆4 図 21 のゆみさんの図を見て、ゆみさんの考えを説明しましょう。          → 自分の考えと同じところやちがう所はどこかな。          ☆5 3人の考えで、共通している所はどのようなところでしょうか。          → みんなで話し合ってみよう。          友達の考えのいいところを見つけられるかな。          p21          → まとめよう          今日の学習でどんなことが分かったかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>まとめ              図 18 のような形の面積も、長方形や正方形の形をもとにして考えれば求めることができます。</p> </div> <p>キューブ「いままで習ったことを使って考えればいいんだね。」          → 使ってみよう          誰の考えがつかえるかな。          △6 図 22 のような形の面積を、いろいろな方法で求めましょう。          図 22          補充問題          たくみ「次のページに、ぼくのノートがあるよ。」          ゆみ「私の学習感想もあるよ。」</p>	
22, 23	ノート	削除 修正	<p>図は削除し、以下のように変更した。</p> <p>考えよう 伝えよう          算数マイノートをつくろう          先生「算数の学習は、前に学習したことを使って新しい問題を解決していきます。          いつでも振り返ることができるようにノートに</p>	編集の具体的方針(19)に基づく

4年 下			<p>学習の記録を残しておきましょう。」 ノートには次のようなことを書きましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習した日</li> <li>2. 教科名</li> <li>3. 名前</li> <li>4. 問題</li> <li>5. 自分の考え</li> <li>6. 友達の考え</li> <li>7. まとめ</li> <li>8. 学習感想</li> </ol> <p>たくみさんのノート 11月19日 算数 たくみ</p> <p>(問題) 教科書何ページの図18のような形の面積を求めましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ,自分の考え Eのところで横に切って、2つの長方形に分ける。 上の長方形は縦2 cm, 横3 cm, 下の長方形は縦2 cm, 横6 cmです。 <math>2 \times 3 + 2 \times 6 = 6 + 12 = 18</math> 答え 18cm<sup>2</sup></li> <li>2. ゆみさんの考え Eのところを縦に切って、2つの長方形に分ける。 左の長方形は縦4 cm, 横3 cm, 右の長方形は縦2 cm, 横3 cmです。左右の長方形は横の長さが同じなので、右の長方形を左の長方形の上に乗せると、縦(2 + 4) cm, 横, 3 cmの長方形ができる。 <math>(2 + 4) \times 3 = 6 \times 3 = 18</math> 答え 18cm<sup>2</sup></li> <li>3. まとめ 図18のような形の面積も、長方形や正方形の形をもとにして考えれば求めることができる。</li> <li>4. 学習感想 面積の公式が使える長方形や正方形の形をもとにすれば、面積を求められることがわかりました。</li> </ol> <p>友達のノートの工夫 みほ「間違えたところは、「め」で消さないで、「訂正」と書いて正しい答えを書きます。」 例えば、 縦4 cm, 横6 cmの長方形から、縦2 cm, 横3 cmの長方形を引きます。 <math>4 \times 6 - 2 \times 3 = 16</math> 訂正 <math>4 \times 6 - 2 \times 3 = 18</math> <math>24 - 6 = 16</math>と間違えた。 しんじ「前の学習を使っているところは、そのことが書いてあるマイノートの日にちを書くようにしています。」 例えば、</p>	
---------	--	--	--	--

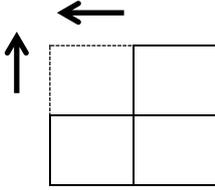
4年 下			<p>2つの面積を求めるのに11月14日に学習した長方形の面積を使った。</p> <p>かおり「学習中に気がついたことや気をつけることを書いています。」</p> <p>例えば</p> $(2 + 4) \times 3 = 18$ <p>(式からどんな長方形かわかった！)</p> <p>学習感想には、今日の学習で次のことを書きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. わかったこと</li> <li>2. 気がついたこと</li> <li>3. 次に考えてみたいこと</li> <li>4. 友達の考えを聞いて思ったこと</li> </ol> <p>友達の学習感想</p> <p>ひろきさんの学習感想</p> <p>長方形や正方形に分ければ、面積を求められることが分かりました。</p> <p>ゆみさんの学習感想</p> <p>長方形や正方形の形をもとにすればよいことが分かりました。ほかの形の面積も求めてみたいです。</p> <p>しんじさんの学習感想</p> <p>ゆみさんのように、分けて動かすと、1つの長方形になり、簡単に面積が求められると思いました。</p>	
24	図 本文	削除 修正	<p>教室と理科室の図は中の児童,机などを削除し,長方形の形と長さ,1m四方の正方形は残した。</p> <p>□1の文を以下のように修正した。</p> <p>□1 図23は教室,図24は理科室の図です。面積を比べましょう。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
24	写真	削除 修正	<p>写真を削除し,1m<sup>2</sup>の正方形を掲載した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
25	写真	修正	<p>バレーボールのコートの写真を上から見た図である長方形の図に代える。コートの形が分かるようにした。</p> <div style="text-align: center;"> <p>9 m</p>  <p>ネット</p> </div>	編集の具体的方針(4)に基づく
25	写真 と図	修正	<p>新聞紙の長方形と1m<sup>2</sup>の正方形の図を乗せる。テトラのセリフを加えた。</p> <p>テトラ「新聞紙を広げたもの2枚分の大きさは1m<sup>2</sup>より小さいね。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
25	絵	削除 修正	<p>花壇の図を削除し,本文を以下のように修正した。</p> <p>縦が200cm,横が4mの長方形の形をした花壇の面</p>	編集の具体的方針(4)に基づく

4年 下				積は何 $m^2$ ですか。また、何 $cm^2$ ですか。	
	26, 27	写真	修正	面積を示した航空写真は削除し、必要な内容を点図で示した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	28	写真	削除 修正	「算数をつかってやってみよう」の写真を削除し、本文を以下のように変更した。  いろいろなものの面積を調べてみよう。 例えば、教科書の表紙、教室のドア、ドッジボールのコートなど。 ボール「はじめに見当をつけてみよう。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	29	セリフ	修正	キューブのセリフを修正し、◇4の①の前に入れた。 キューブ「同じ形を作って考えよう。」	編集の具体的方針(19)に基づく
	30	写真	削除 修正	写真を削除し、文章化した。  例えば、 プールの水深は1.2mでした。 1.2は図1のような数です。 図1 やかんに入る水の量は2.4Lでした。 2.4は図2のような数です。 図2 ほかには ボールペンの先のボールの径 0.25mm 5円玉の重さ 3.75g ゴミ袋の厚さ 0.03mm かおり「水筒や水差しに入る水のかさにもいろいろあるね。」 水筒 1リットル, 1.2リットル 水差し □?	編集の具体的方針(4)に基づく
	31	写真	削除 追加	人物の写真を削除し、名前を付けた。 図1 よしき「水筒はちょうどだよ。」 図2 みき「水差しは1.2Lと1.3Lの間だよ。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	32, 33	数直線	修正	見開きの数直線は3つに分けて掲載した。「↑を書きましょう」は「印を付けましょう」に修正した。実際には丸シールや三角のシール、またはタックペーパーを三角に切ったものを使用するとよい。	編集の具体的方針(4)に基づく
	33	写真	削除	新幹線の写真は削除した。レールの幅の1.435mは問題文中にあるので削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	33	数直線	修正	数直線の拡大図は載せるが、見開きの数直線とは切り離して示した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	34	文	修正	ピンクの囲みの中を文章化した。  100gは1kgの $\frac{1}{10}$ なので0.1kg 10gは0.1kgの $\frac{1}{10}$ なので0.01kg 1gは0.01kgの $\frac{1}{10}$ なので0.001kg	編集の具体的方針(19)に基づく
34	セリフ	修正	ゆみのセリフは文章化した。	編集の具体的方針(4)に基づく	

4年 下			ゆみさんの考え 10cmは1mの1/10なので0.1m 1cmは0.1mの1/10なので0.01m	
	35	図	修正 タイルの図は0.001まで載せ、拡大図は省略した。指導の際には0.001は0.1の図と同じように、0.01を10に分けた1つ分であることを指導するとよい。また、矢印と□は図の上を書いてあるもののみを載せた。指導の際には右から見ると左が何倍になっているかを問いかける。	編集の具体的方針(4)に基づく
	35	文	修正 ピンクの囲みの中を文章化した。  0.1は1の1/10 0.01じゃ0.1の1/10なので1の1/100 0.001は0.01の1/10なので1の1/1000	編集の具体的方針(19)に基づく
	36	写真 本文	削除 修正 写真は削除し、本文に以下の文を加える。また、囲みの中は以下のように変更した。  2 千葉県木更津市にある東京湾アクアブリッジの長さは4.384kmです。4.384の位取りを調べましょう。 ☆1 4.384は、1, 0.1, 0.01, 0.001をそれぞれ何個集めた数ですか。次の□に当てはまる数を答えましょう。 4.384 4は1が□こ 0.3は0.1が□こ 0.08は0.01が□こ 0.004は0.001が□こ	編集の具体的方針(4)に基づく
	37	本文	修正 本文を以下のように修正した。 3 次の(あ)～(え)の小数の大きさを比べましょう。 (あ) 2.43 (い) 2.466 (う) 2.408 (え) 2.48 ☆1 (い), (う), (え)の数を次ページの図12の空欄にはどのような数字が入るかを考えて(あ)～(え)の数の大きさを比べましょう。	編集の具体的方針(19)に基づく
	37	数直線 セリフ	修正 0.001のめもりのある数直線は0.005目盛りを最小として変更した。以下同じ。  しんじのセリフを以下のように修正した。 しんじ「2.4から2.5までが0.1で、めもりは20あるから…。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	37	記号	修正 ☆3の↑記号は以下のようにして問題文を以下のようにした。以下同じ。  ☆3 (あ), (い), (う), (え)の数を表す目盛に印を付けましょう。 小数第3位の目盛はないが、見当をつけて印を付ける指導をすることが望ましい。	編集の具体的方針(4)に基づく

4年 下	37	本文	修正	<p>△4の問題文を以下のように変更した。</p> <p>次の(あ)～(お)の数を小さい順に並べましょう。 次の図14の数直線を参考にしましょう。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
	38	ノート	削除 修正	<p>ノートの絵は削除し、ボールのセリフに変える。</p> <p>ボール「(1)の0.04の場合,0.01が4こだから…」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	40	本文	修正	<p>☆1の本文を以下のように変更した。</p> <p>☆1 0.74を10倍した数,1/10した数を該当ページの図20の□に書くとどのようなようになるか考えましょう。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
	41	本文	修正 削除	<p>小数の筆算は以下のように修正し,筆算の図は削除した。</p> <p>1.75+2.64は次のように計算することができます。</p> <p>①1の位の計算 1に2をたす。1の位の答えは3</p> <p>②小数第1位の計算 7に6をたすと13。1の位に繰り上がったので1の位の答えは4。小数第1位の答えは3。</p> <p>③小数第2位の計算 5に4をたすと9。小数第2位の答えは9。</p> <p>④1.75+2.64=4.39</p> <p>筆算での計算は珠算編の「小数のたし算,引き算」で学習します。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
	42	筆算	修正 削除	<p>筆算を削除し,横式にした。問題文を以下のようにした。</p> <p>次の計算の仕方を説明しましょう。</p> <p>(1)<math>0.574+0.226=0.800=0.8</math></p> <p>(2)<math>3.6+0.835=4.435</math></p> <p>ボール「(1)の答えは0.8だね。」</p> <p>キューブ「(2)のたされる数の3.6は3.600と考えて…」</p> <p>ひろき「0.001をもとにして考えると…」</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
	42	本文	修正	<p>△2以降の問題文を追加した。</p> <p>次の計算をしましょう。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
	43	本文	修正	<p>小数の筆算は以下のように修正した。</p> <p><math>3.64-2.76</math>は次のように計算することができます。</p> <p>①1の位の計算 3から2を引く。1の位の答えは1。</p> <p>②小数第1位の計算 6から7はひけないので,1の位から1繰り下げます。1の位の答えは0。16から7をひいて9。小数第1位の答えは9。</p> <p>③小数第2位の計算 4から6はひけないので小数第1位から1繰り</p>	編集の具体的方針(16)に基づく

4年 下			下げます。小数第1位の答えは8。14から6をひいて8。小数第2位の答えは8。 ④ $3.64 - 2.76 = 0.88$ ボール「1の位の0を忘れないでね。」	
43	本文 筆算	修正 削除	筆算を削除し、問題文を変更した。  □4 次の計算の仕方を説明しましょう。 (1) $5.2 - 3.76 = 5.20 - 3.76 = 1.44$ (2) $3 - 0.42 = 3.00 - 0.42 = 2.58$ しんじ「0.01をもとにして考えると…」	編集の具体的方針(16)に基づく
45	筆算	修正	◇2の筆算を横式にした。  次の計算は間違っています。その訳を説明して、正しく計算しましょう。 (1) $0.6 + 0.7 = 0.13$ (2) $2.65 + 11.9 = 3.84$ (3) $7.2 - 1.89 = 5.49$	編集の具体的方針(16)に基づく
46	写真 絵	削除 修正	絵と写真を削除し、文章化した。(ア)の時計盤は○の時計盤に、(イ)の時計盤は●の時計盤に変更した。  男の先生「該当ページのような短い針だけの時計があります。」 表(ア)の時計を図1のように針が上に向くようにして持ちます。 はるき「12時です。」 ひっくり返すと裏(イ)の時計は図2のようになります。 ほのか「1時です。(ア)と(イ)では、時刻が違いますね。」 ほのかさんたちは、この時計を使って、(ア)の時刻を見て(イ)の時刻をあてるゲームをしています。 ほのか「では、問題です。時計の持つところを変えて、(ア)時計を図2のように2時にします。(イ)の時計は何時でしょう。 男の先生「先生は11時だと思います。」 ひっくり返すと…。 はるき「12時のときは1時間進んでいたから…。3時かな。」 図3 ほのか「答えは11時です。」 はるき「先生は、どうしてすぐに答えが分かったかな。何か決まりがありそう…。」 ☆2つの数の変わり方を調べていこう。 巻末のような時計を厚紙等で作るとよいでしょう。	編集の具体的方針(4)に基づく
47	本文	修正	☆1の問題を以下のように修正した。  ☆1 (墨字46ページ)の図1にある時計盤の表(あ)と裏(い)の時刻をカードに書くと図3のようになりました。どんなきまりがあるか調べましょう。	編集の具体的方針(19)に基づく
47	写真	削除	写真は削除し、女の子のセリフは以下のようにし	編集の具体的方針(4)に基づく

4年 下	セリフ	修正	た。  あかね「(ア)の時計盤が3時のとき,(イ)の時計盤は…。」	基づく
47	写真	削除 修正	カードに記入している写真は削除した。カードを並べた写真はカードのみ図にした。	編集の具体的方針(4)に基づく
48	記号	修正	☆4の□を(ふ),○を(む)に修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく
51	図	修正	テトラの図は以下のように修正した。 テトラ「図7のように考えると…」  	編集の具体的方針(4)に基づく
54	本文	修正	問題文を以下のように修正した。  5. 74を10倍, 100倍, 1/10, 1/100にした数を図1に表すと5, 7, 4はそれぞれ何の位に入のでしょうか。キューブ「位はどのようにかわっているかな。」	編集の具体的方針(4)に基づく
54	黒板	修正	黒板の中の式を文章化した。  $3 \times 4 = 12$ $30 \times 4 = (1) \square$ 3を10倍すると30になるから, 12を(2)□倍すると(1)□になる。 かけられる数が10倍になると, 積は(3)□倍になる。 $6 \times 7 = 42$ $600 \times 7 = (4) \square$ 6を100倍すると600になるから, 42を(5)□倍すると(4)□になる。 かけられる数が100倍になると, 積は(6)□になる。	編集の具体的方針(4)に基づく
55	本文	修正	単元名の後に以下の文を追加した。  この単元では, 主に珠算編3. 3の「小数のかけ算」4. 3の「小数の割り算」を使って, そろばんの計算の仕方を考えましょう。	編集の具体的方針(15)に基づく
55	黒板	修正	黒板の絵を削除し, 文章に変更した。  黒板に次のように書いてあります 1本2L入りのジュースがあります。このジュースを6本買うと, ジュースは全部で何Lになりますか。 $2 \times 6 = 12$ 答え 12L 先生「問題文の中の2を0.3に変えます。」 ゆたか「ジュースの量が小数になると式は…。」	編集の具体的方針(4)に基づく
55	数直線	修正	基準となる1の大きさを始めに確認してから比べる大きさを確かめられるように, 2本の数直線の上下を入れ替える。	編集の具体的方針(4)に基づく

4年 下	56	数直線	削除	かおりの考えの数直線は図2と同じなので削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	56	式	修正	<p>式を以下のように修正した。</p> $0.3 \times 6 = 1.8$ $3 \times 6 = 18$ <p>かけられる数の0.3を(1)□倍すると3            答えの1.8も(2)□倍すると18            答えの18を1/10(10で割る)して1.8</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	57	セリフ	修正	<p>ひろきのセリフを文章化した。</p> <p>ひろきの考え</p> $3.6 \times 7 = \square$ <p>3.6を10倍して計算すると</p> $3.6 \times 7 = 252$ <p>252は□を10倍した数なので252を1/10すると□になる。</p> <p>ボール「整数に直して考えたんだね。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	57	筆算	修正	<p>筆算の仕方を変更した。</p> <p>3.6×7の計算の仕方</p> <p>①小数第1位の計算をします。0.6×7=4.2            ②一の位の計算をします。3×7=21            ③21と4.2をあわせて25.2            ④3.6×7=25.2</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
	57	セリフ	修正	<p>キューブのセリフを修正し、テトラのセリフの中の式を文章化した。</p> <p>キューブ「筆算では小数点を考えないで、整数のかけ算と同じように計算するから、位をそろえるのではなく、右にそろえて書くんだよ。」</p> <p>テトラ「3.6×7=25.2 のかけられる数の3.6を10倍すると36×7になる。これを計算すると36×7=252式を10倍したから、答えも10倍になっているよね。だから基の式の答えを出すためには252を1/10すればいいんだよね。」</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
	58	筆算	修正	<p>□3の問題を修正した。</p> <p>□3 次の計算の仕方を説明しましょう。</p> <p>(1)0.2×5=0.8            (2)0.8×5=4.0=4            (3)7.5×4=30.0=30</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
	58	筆算	削除修正	<p>□4 筆算を削除し、問題文を修正した。</p> <p>□4 1.8×34の計算の仕方を説明しましょう。</p> $1.8 \times 34 = \square$ <p>キューブ「小数点の位置に気をつけましょう。」</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
	58	ノート	修正	△7のノートは、線分図のみ点図にした。以下同じ。	編集の具体的方針(4)に基づく
	59	計算	修正	式を以下のように修正した。	編集の具体的方針(16)に基づく

4年 下			<p>1. <math>36 \times 7 = (1) \square</math>  <math>136 \times 7 = 952</math>          かけられる数の1.36を(2) <math>\square</math>倍すると136          (1) <math>\square</math>を(2) <math>\square</math>倍すると952になるから、952を  <math>1/100</math>(100でわる)と(1) <math>\square</math>になる。</p>	
59	筆算	修正	<p>筆算の仕方を文章化した。</p> <p>1. <math>36 \times 7 = \square</math>  <math>136 \times 7 = 952</math>          かけられる数の1.36を100倍すると136          かけられる数を100倍したから、積は基の積の <math>\square</math>          を100倍した数になっている。だから、952を<math>1/100</math>          すると <math>\square</math>になる。          みほ「1.36を100倍して、<math>136 \times 7</math>の計算をする。          積を100でわればよいから…。」</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
61	問題	修正	<p><math>\triangle 1</math>の問題を修正した。          次の計算をしましょう。問題の後に答えがあります。</p> <p>① <math>0.4 \times 3</math>          ……          (答え)          (あ)0.98          (い)1.2          ……          (た)4563.3          ボール「答えのところに印をつけよう」  <math>\triangle 2</math>も同じようにする。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
62	絵	削除 修正	<p>黒板の絵を削除し、文章化した。</p> <p>黒板に次のことが書いてあります。          水が6Lあります。この水を3人で等分すると、          1人分は何Lになりますか。  <math>6 \div 3 = 2</math>      答え    2L          先生「かけられる数の6を3.6に変えます。」          ゆうき「水の量が小数になったけど、式は…。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
65	筆算	修正	<p>筆算の仕方を訂正した。</p> <p>7.2 <math>\div</math> 3の計算の仕方          ①一の位の計算をします。7 <math>\div</math> 3    答えに2をた          てる。3 <math>\times</math> 2 = 6    7から6をひく。7 - 6 = 1    一          の位の残りの1と小数第1位の2で(あ)12          ②小数第1位の計算をします。12 <math>\div</math> 3    答えに4          をたてる。    3 <math>\times</math> 4 = 12    12から12をひく。12 - 12          = 0          ③商は1.2          ④7.2 <math>\div</math> 3 = 1.2          キューブ「(あ)の12は0.1が12こあることを表し          ているね。」          テトラ「商の小数点をうつところ以外は、整数の          わり算と同じだね。」</p>	編集の具体的方針(16)に基づく

4年 下	65	ノート	修正	△4の線分図は線分図のみ掲載した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	66	筆算	修正	□3の問題を修正した。  □3 $6.3 \div 7$ の仕方を説明しましょう。 $6.3 \div 7 = 0.9$	編集の具体的方針(16)に基づく
	66	セリフ	修正	ボールのセリフを修正した。  ボール「割られる数の一の位の6は、割る数の7より小さいから、商の一の位は0だよ。忘れないでね。」	編集の具体的方針(19)に基づく
	66	筆算	修正 削除	□4の問題を修正した。筆算と☆1は削除した。  □4 $95.2 \div 28$ の計算の仕方を説明しましょう。 $95.2 \div 28 = 3.4$	編集の具体的方針(19)に基づく
	67	筆算	修正 削除	□5の筆算の仕方を修正し、☆1、☆2は削除した。  □5 $9.48 \div 4$ の計算の仕方を説明しましょう。 $9.48 \div 4 = 2.37$	編集の具体的方針(19)に基づく
	67	筆算	修正	□6の問題を修正した。筆算は横式にした。  □6 $0.24 \div 6$ の計算の仕方を説明しましょう。 $0.24 \div 6 = 0.04$	編集の具体的方針(19)に基づく
	68	筆算	修正	□7の筆算を横式にして、筆算を修正した。  □7 $46.7 \div 3$ の計算をして商は一の位まで求め、あまりもだしましょう。 ☆小数のわり算の、あまりの大きさについて考えよう。 ①十の位の計算をします。 $4 \div 3$ 答えに1がたちます。 $3 \times 1 = 3$ $4 - 3 = 1$ 一の位の6とあわせて16 ②一の位の計算をします。 $16 \div 3$ 答えに5がたちます。 $3 \times 5 = 15$ $16 - 15 = 1$ 小数第1位の7とあわせて(あ)17 商は一の位まで求めるので、計算は終わり。商は15 ☆1 上の計算で、最後の(あ)17は、どんな数が17こあることを表していますか。 $46.7 \div 3 = 15$ あまり□	編集の具体的方針(16)に基づく
	68	まとめ	修正	まとめの文を修正した。  まとめ 小数のわり算であまりを考えると、あまりの小数点は、基の小数の位にもどしてうちます。	編集の具体的方針(19)に基づく
69	筆算	修正 削除	□8の筆算を削除し、修正し、☆2は削除した。  $6 \div 4$ の計算の仕方を説明します。 ①一の位の計算をします。 $6 \div 4$ 答えに1がたちます。 $4 \times 1 = 4$ $6 - 4 =$ (あ)2 一の位の残りは2	編集の具体的方針(16)に基づく	

4年 下			<p>②小数第1位の計算をします。一の位の残りの2を20とみます。<math>20 \div 4</math> 答えに5がたちます。<math>4 \times 5 = 20</math> <math>20 - 20 = 0</math></p> <p>③答えは1.5</p> <p>④<math>6 \div 4 = 1.5</math></p> <p>☆1 上の計算で(あ)の2は0.1の何個分の大きさですか。</p>	
69	筆算	修正	<p>☆3の筆算を修正した。</p> <p>☆3 <math>5 \div 4</math>の計算で、計算を続ける方法を考えましょう。</p> <p>①一の位の計算をします。<math>5 \div 4</math> 答えに1がたちます。<math>4 \times 1 = 4</math> <math>5 - 4 = 1</math> 一の位の残りは1</p> <p>②小数第1位の計算をします。一の位の残りの1を10とみます。<math>10 \div 4</math> 答えに2がたちます。<math>4 \times 2 = 8</math> <math>10 - 8 = 2</math> 小数第1位の残りは2</p> <p>③小数第2位の計算をします。小数第1位の残りの2を20とみます。<math>20 \div 4</math> 答えに5がたちます。<math>4 \times 5 = 20</math> <math>20 - 20 = 0</math></p> <p>④商は1.25</p> <p>⑤<math>5 \div 4 = 1.25</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく
70	筆算	修正	<p>□9の筆算を修正した。</p> <p>□9 <math>1.7 \div 5</math>の計算を、割り切れるまでしましょう。</p> <p>①一の位の計算をします。<math>1 \div 5</math> 一の位の商は0 残りは1</p> <p>②小数第1位の計算をします。一の位の残りの1を10とみて小数第1位の7とあわせて17 <math>17 \div 5</math> 答えに3がたちます。<math>5 \times 3 = 15</math> <math>17 - 15 = 2</math> 小数第1位の残りは2</p> <p>③小数第2位の計算をします。小数第1位の残りの2を20とみます。<math>20 \div 5</math> 答えに4がたちます。<math>5 \times 4 = 20</math> <math>20 - 20 = 0</math></p> <p>④商は0.34</p> <p>⑤<math>1.7 \div 5 = 0.34</math></p> <p>キューブ「1.7を□と考えて…」</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
70	筆算	修正	<p>□10の筆算を修正した。</p> <p>①一の位の計算をします。<math>13 \div 3</math> 答えに4がたちます。<math>3 \times 4 = 12</math> <math>13 - 12 = 1</math> 一の位の残りは1</p> <p>②小数第1位の計算をします。一の位の残りの1を10とみます。<math>10 \div 3</math> 答えに3がたちます。<math>3 \times 3 = 9</math> <math>10 - 9 = 1</math> 小数第1位の残りは1</p> <p>③小数第2位の計算をします。小数第1位の残りの1を10とみます。<math>10 \div 3</math> 答えに3がたちます。<math>3 \times 3 = 9</math> <math>10 - 9 = 1</math> 小数第2位の残りは1</p> <p>④商は4.33… (四捨五入して)4.3</p> <p>⑤<math>13 \div 3 = 4.3</math> あまり0.01</p>	編集の具体的方針(16)に基づく

4年 下	74	筆算	削除 修正	<p>◇ 1 の筆算の間違いを探す問題は横式と間違っ た答えを書く形式で示した。</p> <p>◇ 1 次の計算の間違いを見つけて、正しく計算 しましょう。</p> <p>1. <math>1.25 \times 18 = 2.25</math>  2. <math>0.042 \times 17 = 7.14</math>  3. <math>6 \div 5 = 12</math>  4. <math>4.5 \div 6 = 7.5</math></p>	編集の具体的方針(16)に 基づく
	74	筆算	削除 修正	<p>筆算は削除し、文章化した。</p> <p>2 次の(1), (2)の計算で(あ)24, (い)24はそれ ぞれ, どんな数が24こあることを表しています か。</p> <p>(1) <math>8.4 \div 3</math>  一の位の計算をします。<math>8 \div 3</math> 答えに2がたち ます。<math>3 \times 2 = 6</math> <math>8 - 6 = 2</math> 一の位残りは2  小数第1位の計算をします。一の位の残りの2を 20とみて, 小数第1位の4とあわせて(あ)24 <math>24 \div 3</math> 答えに8がたちます。 <math>3 \times 8 = 24</math> <math>24 - 24 = 0</math>  商は2.6  <math>8.4 \div 3 = 2.8</math></p> <p>(2) <math>7.44 \div 6</math>  一の位の計算をします。<math>7 \div 6</math> 答えに1がたち ます。<math>3 \times 2 = 6</math> <math>7 - 6 = 1</math> 一の位の残りは 1  小数第1位の計算をします。一の位の残りの1を 10とみて, 小数第1位の4とあわせて14 <math>14 \div 6</math>  答えに2がたちます。 <math>6 \times 2 = 12</math> <math>14 - 12 = 2</math>  小数第1位の残りは2  小数第2位の計算をします。小数第1位の残りの 2を20とみて, 小数第2位の4とあわせて(い)24  <math>24 \div 6</math> 答えに4がたちます。 <math>6 \times 4 = 24</math> <math>24 - 24 = 0</math>  商は1.24  <math>7.44 \div 6 = 1.24</math></p>	編集の具体的方針(16)に 基づく
	76, 77	絵	削除 修正	<p>絵は削除し、内容を文章で以下のように表した。</p> <p>どんな計算になるかな？</p> <p>さきさんは家族と一緒に車で海浜公園に向かっ ています。川を超えるとタワーが見えてきました。</p> <p>1 タワーの高さは60mで, さきさんの家の高さ は8mです。タワーの高さは, さきさんの家の何 倍ですか。</p> <p>途中のコンビニでお茶を買いました。</p> <p>2 0.35Lのお茶の入ったペットボトルが130円 で売っています。24本買うと, お茶は全部で何L になりますか。</p> <p>お肉屋さんと八百屋さんで買い物をしました。</p> <p>3 肉を600g買いました。4人で等分すると, 1</p>	編集の具体的方針(4)に 基づく

4年 下			<p>人分は何gになりますか。</p> <p>4 500円玉で,198円のキャベツを1個と,65円の玉ねぎを何個か買います。玉ねぎは何個まで買うことができますか。</p> <p>あと少しで海浜公園に着きます。</p> <p>5 さきさんの家の車は,1Lのガソリンで12km走るとします。さきさんの家から公園までの道のりは36kmです。さきさんの家から公園までの道のりを往復すると,ガソリンは何L使いますか。</p> <p>海浜公園に着き,駐車場に車を止めました。</p> <p>6 縦が40m,横が30mの長方形の形をした駐車場があります。この駐車場の面積は何<math>m^2</math>ですか。また,何aですか。</p> <p>公園の中で家族と大縄跳びをしました。</p> <p>7 5mのひもがあります。縄跳びをするのに,ひもを3.08m切り取りました。ひもは何m残っていますか。</p> <p>ふれあい広場でやぎ,ウサギ犬と遊びました。</p> <p>8 ふれあい広場には,生後6か月のやぎがいます。生まれたときの体重は2.7kgで,今の体重は,生まれたときの体重の7倍です。今の体重は何kgですか。</p> <p>浜辺でバーベキューをしました。楽しい1日でした。</p>	
78	文	修正	<p>かおりの考えの吹き出しを以下のように挿入した。</p> <p>かおりの考え 分数でも,整数と同じように,たし算,引き算ができます。</p> <p><math>2/4 + 1/4 = \square</math>  <math>1/4</math>をもとにすると, <math>2 + 1 = 3</math>  <math>5/6 - 3/6 = \square</math>  <math>1/6</math>をもとにすると <math>5 - 3 = 2</math></p>	編集の具体的方針(19)に基づく
80	本文	追加	<p>囲みの後に以下の文を追加し,カギカッコの中は点図で表した。</p> <p>墨字では「1 <math>2/3m</math>」とかきます。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
82	囲み	修正	<p>囲みの中を以下のように文章化した。</p> <p><math>9/4</math>を帯分数にするには, <math>9 \div 4</math>の商とあまりの数との関係を考えよう。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
83	囲み	修正	<p>囲みの中を以下のように文章化した。</p> <p><math>2 \frac{1}{3}</math>を仮分数に直すには <math>3 \times 2 + 1</math>との関係を考えよう。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
85	セリフ	修正	<p>まとめのあとのセリフを以下のように修正した。</p> <p>テトラ「分数は,1つの大きさをいろいろな分母で表すことができるんだね。」</p>	編集の具体的方針(19)に基づく

4年 下				ボール「大きさの等しい分数は、分母が一番小さい分数で表すと分かりやすいよ。」	
	86	吹き出し	修正	まとめにある吹き出しはキューブのセリフにした。 キューブ「40+30, 0.4+0.3と同じ考え方だね。」	編集の具体的方針(19)に基づく
	87	図	削除修正	黒板の図は削除し、囲みにした。	編集の具体的方針(4)に基づく
	88	図	削除修正	黒板の図は削除し、囲みにした。	編集の具体的方針(4)に基づく
	89	囲み	削除	◇4の囲みは削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	90	写真	削除修正	箱の写真は削除し、上から見た図と正面から見た図に修正した。 次の(あ)～(か)の箱があります。 (あ)カスタードケーキの箱 (い)ポテトチップスの箱 (う)おもちゃの箱 (え)カマンベールチーズの箱 (お)チョコレートの箱 (か)パズルの箱 写真と同じような箱を用意して指導しましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく
	90	写真	削除修正	クイズをしている写真を削除し、文章を追加した。  あゆむ, あやね, げんき, はすみは箱の形の特徴について3つの質問をして(あ)～(か)のどの箱かあてるクイズをしています。 あゆむ「面は、全部平らな面ですか。」 はすみ「はい」 あやね「三角形の形の面はありますか。」 はすみ「いいえ」 げんき「あと、何を質問すれば…」 ボール「面の形が長方形や正方形だけの箱はどれかな。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	91	写真	削除修正	箱の形の写真を削除し、文章化した。  はすみさんは、2年生で学習した前のページの(あ)や(え), (か)の箱の形のなかまを集めました。 (き)牛乳のパックの箱 (く)チョコレートの箱 (け)電球の箱 (こ)ティッシュペーパーの箱 (さ)ラップフィルムの箱 (し)キャラメルの箱 ☆いろいろな箱の形の特徴を調べていこう。	編集の具体的方針(4)に基づく
	91	本文 枠	削除	□1の下のキューブのセリフと仲間分けの枠を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	92	写真	削除修正	☆1の写真を削除し、記号のみとした。 (あ)や(え)のなかま (き), (け), (こ), (さ) (か)のなかま (く), (し)	編集の具体的方針(4)に基づく
92	図	修正	囲みの中の見取り図は上から見た図と正面から見た図に修正した。	編集の具体的方針(5)に基づく	

4年 下	94	図	削除	□3の直方体の図は削除	編集の具体的方針(4)に基づく
	94	問	修正	☆1の問を以下のように修正した。  直方体の箱を作るには、どの辺の長さがわかればよいでしょうか。	編集の具体的方針(19)に基づく
	94	図	修正	直方体と立方体の図は上から見た図と正面から見た図に修正した。	編集の具体的方針(5)に基づく
	94	図, 本文	修正	見取り図は上から見た図と正面から見た図に修正した。  ☆2 図11の直方体を辺にそって切り開いた図を途中まで書いたものが図12です。この図を完成しましょう。 実際には罫線テープや紐などを使うとよいでしょう。また、実際に直方体を作って切り開いてみるのもよいでしょう。	編集の具体的方針(5)に基づく
	94	図	削除	直方体を展開する図は削除した。	編集の具体的方針(5)に基づく
	95	図 本文	削除 修正	立方体の図は削除し、△2の本文を修正した。 △2 1辺が3cmの立方体の展開図を書き、立方体の箱を作りましょう。 テトラ「いろいろな展開図がかけそうだね。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	96	写真	削除	写真を削除し、文章化した。  身の回りには、直方体や立方体の形をしたものや、それらを組み合わせたものが数多くあります。 例えば、5個を1パックにしたティッシュペーパーは直方体の形を上積み上げたような形をしています。また、お菓子の箱やブロック塀などは、1個の小さなお菓子の形ブロックを縦横に敷き詰めて、1つの大きな固まりのように扱っています。 はやと 「どうしてきちんと積み重ねられるのかな。」 さくら 「面の交わり方や並び方に何か秘密が…」	編集の具体的方針(4)に基づく
	96	図	削除	□1の立方体の見取り図は展開図にした。	編集の具体的方針(5)に基づく
	96	セリフ	修正	ボールのセリフを以下のように修正した。  ボール「直方体の模型や工作用紙などで直方体を作り、それぞれの面に(あ),(い),…,(か)を書いて考えよう。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	96	図	削除 修正	しんじのセリフの図は削除し、文章化した。  しんじ「垂直は三角定規の90°の角を使って確かめられるよ。」	編集の具体的方針(4)に基づく
98	図	削除 修正	みほのセリフの図は削除し、文章化した。  みほ「辺と面が垂直なのは三角定規2枚で確かめられるよ。」	編集の具体的方針(4)に基づく	

4年 下	98	写真	削除 修正	<p>△4の写真は削除し、文章化した。</p> <p>△4 身の回りから、垂直や平行になっている面や辺を探しましょう。</p> <p>例えば、教室の床と壁、壁と天井、床と天井とではどうか。ラグビーのゴールと地面とではどうだろう。</p> <p>ひろき「身の回りに直方体の箱が多いのは、直方体の面や辺が垂直や平行になっているからなんだね。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	99	図	削除	見取り図、見取り図の書き方は削除した。	編集の具体的方針(5)に基づく
	99	問題	修正	<p>△5見取り図を完成させる問題は、以下のように修正した。</p> <p>△5 次の立体の「上から見た図」と「正面から見た図」を考えてみましょう。</p> <p>(1)たて4cm,横8cm,高さ4cmの直方体</p> <p>(2)一辺の長さが4cmの立方体</p>	編集の具体的方針(5)に基づく
	100	本文	修正	<p>□1の問題文を修正した。</p> <p>□1 図のB,Cの2台の車は、どの位置にあるといえよいでしょうか。</p>	編集の具体的方針(19)編集の具体的方針(4)に基づくに基づく
	100	グラフ	修正	<p>グラフの車の絵は削除した。</p> <p>A,B,Cは大点,グラフの線は裏点で表した。縦,横の平面図のみにした。</p>	
	100	問題	修正	<p>☆3の問題文を以下のように修正した。</p> <p>☆3 点D(横3m,縦1m)を図21に印をつけましょう。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
	101	本文	修正	<p>□2の問題文を修正した。</p> <p>□2 2つの風船E,Fがあります。その位置は、Eは図22の点Bの上3mのところに、Fは点Cの上2mのところですか。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく
	101	図	修正	直方体の見取り図は頂点の記号が分かるように、上から見た図、正面から見た図、左から見た図、右から見た図に修正した。	編集の具体的方針(5)に基づく
	102	図	修正	直方体の見取り図は頂点の記号が分かるように、上から見た図、正面から見た図、左から見た図、右から見た図に修正した。	編集の具体的方針(5)に基づく
	105	絵	削除 修正	黒板は削除し、中の線分図のみ載せた。	編集の具体的方針(4)に基づく
105	線分 図	削除 修正	<p>たくみのセリフの線分図は削除し、文章化した。</p> <p>たくみ「小プール1回と大プール2回の部分は同じだから</p> $(113-63) \div 2 = 25$ <p>答え 大プール 25m</p> $63-25 \times 2 = 13$ <p>答え 小プール 13m</p>	編集の具体的方針(4)に基づく	

4年 下	105	図	削除	黒板の図は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	105	セリフ	修正	ゆみのセリフは、以下のように修正した。 ゆみ「同じ部分があるから、 $113-63=50(m)$ この50mは…。」	編集の具体的方針(4)に基づく
	106	図	修正	□2 10桁の数のカードは枠はなし。	編集の具体的方針(4)に基づく
	107	図	修正	□11の角度は(あ)は $80^\circ$ , (い)は $265^\circ$ にした。	編集の具体的方針(4)に基づく
	109	図	修正	□18 直方体の見取り図は展開図に変更した。	編集の具体的方針(5)に基づく
	109	記号	修正	□21 の②の□と○を( $\odot$ ), ( $\ominus$ )に変更した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	111	絵	削除 修正	漫画を文章化した。  ある日の教室です。 先生「1から100までの和を求めましょう。」 生徒達は大変だと思いました。 数秒後 ガウス「先生, できました。」 ガウス「和は…。」と先生に耳打ちしました。 先生は「正解だ。もうガウスに教えることはない…。」と思いました。	編集の具体的方針(4)に基づく
	111	図	修正	○1のテープに1~9までと9~1までの数字が書いてある図はまっすぐなテープに修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく
	112	式	修正	ガウスの考えた式を文章化した。  1から100までの和は以下のように解くことができます。 $1+2+3+\dots+98+99+100$ 加える順番を変えても和は変わらないので, $100+99+98+\dots+3+2+1$ ふたつの式を立てにそろえて並べ, それぞれの式の上下の数をたしていくと, $1+100=101$ $2+99=101$ $3+98=101$ $4+97=101$ $5+96=101$ … $98+3=101$ $99+2=101$ $100+1=101$ となります。 したがって, $1+2+3+\dots+98+99+100$ $=101\times 100\div 2$ $=5050$	編集の具体的方針(4)に基づく
	112	写真	修正	たわらすぎ算の和算の写真は俵のみ点図にした。	編集の具体的方針(4)に基づく
112	セリフ	修正	ボールのセリフの図は黄色い部分を大点, 白い部分を小点にした。また, 文章を追加した。 ボール「図4のように考えてみよう。」 図4	編集の具体的方針(4)に基づく	
117	筆算	削除 修正	10 □オ の筆算は削除し, 以下のように修正した。	編集の具体的方針(16)に基づく	

4年 下			<p>□オ <math>3.24+5.71=8.95</math> の計算で和の8.95の8は、(あ)□が <math>3+5</math> で8個、9は、(い)□が <math>2+7</math> で9個、5は(う)が <math>4+1</math> で5個、あることを表しています。</p>	
117	筆算	削除 修正	<p>10 □カ の筆算は削除し、横式にした。</p> <p>□カ 次の(1)、(2)の計算は間違っています。その訳を(あ)～(う)から選び答えましょう。</p> <p>(1) <math>0.396+2.464=0.286</math></p> <p>(2) <math>23.8+16.2=40.0=4</math></p> <p>(あ) 繰り上がりを間違えている。</p> <p>(い) 和の小数点の位置を間違えている。</p> <p>(う) 和の消してはいけない0を消している。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
118	筆算	削除 修正	<p>10 □ク の筆算は削除し、横式にした。また、(あ)を修正した。</p> <p>□ク 次の(1)、(2)の計算は間違っています。その訳を(あ)～(う)から選び答えましょう。</p> <p>(1) <math>54.82-20.6=52.76</math></p> <p>(2) <math>126.2-96.2=30.0=3</math></p> <p>(あ) 位をそろえずに計算している。</p> <p>(い) 差の小数点をうっつ位置を間違えている。</p> <p>(う) 差の消してはいけない0を消している。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
118	筆算	削除 修正	<p>12 □コ の筆算は削除し、横式にした。</p> <p>□コ □に数字を入れ、正しい計算を作りましょう。</p> <p>(1) <math>4.□ \times 3 = 13.8</math> (2) <math>3□.9 \times □ = 272.3</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく
118	筆算	削除 修正	<p>12 □サ の筆算は削除し、横式にした。</p> <p>□サ 全部の□に数字を入れ、正しい計算を作りましょう。また、必要のない0を答えましょう。</p> <p>(1) <math>0.□ \times 9 = □.8</math></p> <p>(2) <math>□7.5 \times 6 = 16□.□</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく
119	筆算	削除 修正	<p>12 □セ の筆算は削除し、横式にした。</p> <p>(1) <math>8.□ \div 6 = 1.□</math></p> <p>(2) <math>□.6 \div 8 = □.2</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく
119	記号	修正	<p>12 □ソ の○と×は「まる」と「ばつ」に変更した。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
120	筆算	削除 修正	<p>□タ の筆算は削除し、横式にした。</p> <p>□タ □に数字を入れ、正しい計算を作りましょう。</p> <p>(1) <math>8□.8 \div 37 = 2.□</math></p> <p>(2) <math>4□.4 \div 4□ = □.9</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく
121	筆算	削除 修正	<p>□ト の筆算を削除し、計算方法を文章化した。</p> <p>□ト <math>4 \div 25</math>の計算をします。 一の位の計算をします。<math>4 \div 25</math> 答えに0がたちます。小数第1位の計算をします。一の位の残りの</p>	編集の具体的方針(16)に基づく

4年 下			<p>4と小数第1位の0をあわせて40 <math>40 \div 25</math> 答えに1がたちます。 <math>25 \times 1 = (あ)25</math> <math>40 - 25 = 15</math> 小数第2位の計算をします。小数第1位の残りの15と小数第2位の0をあわせて150 <math>150 \div 25</math> 答えに6がたちます。 <math>25 \times 6 = (い)150</math> <math>150 - 150 = 0</math></p> <p>(1)(あ)25は、どんな数が25個あることを表していますか。</p> <p>(2)(い)150は、どんな数が150個あることを表していますか。</p>	
121	問題	修正	<p>□ナの問題文を以下のように修正した。</p> <p>6. <math>4 \div \square</math>の計算で1/100の位までで割り切れないのは、□がどんな数のときですか。1から9までの数の中から全部選びましょう。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
121	問題	修正	<p>□ニの問題を以下のように修正した。</p> <p>□ニ <math>76.8 \div \square</math>のわり算で、商を四捨五入して上から2けたの概数にするとき、商が2.3になるのは、□がどんな数になるときですか。30から35までの数の中から全部選びましょう。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
123	図	削除 修正	<p>14 △へ の直方体、立方体を削除し、文章化した。</p> <p>△へ 以下のような直方体や立方体の展開図を書きましょう。</p> <p>(1)縦2 cm, 横3 cm, 高さ4 cmの直方体 (2)一辺の長さ他2 cmの立方体</p>	編集の具体的方針(5)に基づく
123, 124	見取り 図	削除 修正	<p>△□ホ 見取り図を書かせる問題は以下のように修正した。</p> <p>△ホ 次の立体の「上から見た図」と「正面から見た図」を考えてみましょう。</p> <p>(1) たて4 cm, 横4 cm, 高さ6 cm (2) 一辺の長さが5 cm</p> <p>□ホ 次の立体の「上から見た図」と「正面から見た図」を考えてみましょう。</p> <p>(1) たて4 cm, 横3 cm, 高さ7 cmの直方体 (2) 一辺6 cmの立方体</p>	編集の具体的方針(5)に基づく
124	筆算	削除 修正	<p>答え □コ 筆算を削除し、以下のように横式にした。</p> <p>□ コ (1) <math>4.6 \times 3 = 13.8</math> (2) <math>38.9 \times 7 = 272.3</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく
124	筆算	削除 修正	<p>答え □サ 筆算を削除し、以下のように横式にした。</p> <p>□ サ (1) <math>0.2 \times 9 = 1.8</math> (2) <math>27.5 \times 6 = 165</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく
124	筆算	削除 修正	<p>答え □セ 筆算を削除し、以下のように横式にした。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく

4年 下			<p>□セ  (1) <math>8.4 \div 6 = 1.4</math>  (2) <math>9.6 \div 8 = 1.2</math></p>		
	125	筆算	削除 修正	<p>答え □タ 筆算を削除し、以下のように横式にした。</p> <p>□タ  (1) <math>88.8 \div 37 = 2.4</math>  (2) <math>41.4 \div 46 = 0.9</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく
	125	図	修正	△ホ 見取り図は「上から見た図」と「正面から見た図」に修正した。	編集の具体的方針(5)に基づく
	129	写真 セリフ	削除 修正	<p>1の写真を削除し、セリフを以下のように修正した。</p> <p>「実際に工作用紙や立方体が作れるブロックを使って考えるようにするといよいよ。」</p>	編集の具体的方針(19)に基づく
	132, 133	ノート	削除 修正	かおりとひろきのノートは線分図のみ載せる。	編集の具体的方針(4)に基づく
	134	本文 筆算	削除	○2の筆算は削除し、「筆算は…」の文は削除した。	編集の具体的方針(16)に基づく
	134	筆算	削除 修正	<p>○3の筆算を削除し文章化した。</p> <p>①百の位の計算をします。<math>3 \times 132 = 396</math> 答えは39600  ②十の位の計算をします。<math>2 \times 132 = 264</math> 答えは2640  ③一の位の計算をします。<math>4 \times 132 = 648</math> 答えは648  ④ <math>39600 + 2640 + 648 = 42768</math>  ⑤ <math>324 \times 132 = 42768</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく
	134	筆算	削除 修正	<p>○4の筆算を削除し、文章化した。</p> <p>①百の位の計算をします。<math>3 \div 21</math> 答えに0がたちます。百の位の残りは3  ②十の位の計算をします。百の位の残りの3と十の位の4とあわせて34 <math>34 \div 21</math> 答えに1がたちます。<math>21 \times 1 = 21</math> <math>34 - 21 = 13</math> 十の位の残りは13  ③一の位の計算をします。十の位の残りの13と一の位の5とあわせて135 割る数の21を20と見て、<math>135 \div 20</math> 答えに6がたちます。 <math>21 \times 6 = 126</math>  <math>135 - 126 = 9</math>  ④商は16 あまりは9  ⑤ <math>345 \div 21 = 16</math> あまり9</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
134	表	修正	<p>○5の表は削除し、文章化した。</p> <p>①千の位までの概数にする→1つ下の百の位で四捨五入する。  (例1)13648の百の位は6なので千の位に切り上げて14000</p>	編集の具体的方針(4)に基づく	

4年 下			<p>(例2) 17392の百の位は3なので切り捨てて 17000</p> <p>②上から1けたの概数にする→上から2つめの 位で四捨五入する。</p> <p>(例3) 13648の上から2つめの位の数は3なので 切り捨てて10000</p> <p>(例4) 17392の上から2つめの位の数は7なので 切り上げて20000</p>	
---------	--	--	--	--

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
5年上	6	写真	修正	5円玉の写真は点図化して示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	7	写真	削除	写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正	☆1の文章は、次のように修正した。  次の位取り表に●がいくつ入るか考えて印をつけましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	9	本文	修正	3の文章を次のように修正した。  1, 3, 4, 5, 8の数字がひとつずつ書かれた5枚のカードがあります。これらのカードを次の図9の枠の中にあてはめて、いろいろな大きさの数をつくりましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	10	本文	削除 修正	4の図を削除し、文章を次のように修正した。  墨字の教科書に使われている紙はたて25.7cm, 横18.2cmで、印刷前の1まい分の重さは、およそ2.98gです。2.98を10倍, 100倍, 1000倍するとどのような数になるか調べましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正	☆1の文章の「上の表に書きましょう。」を「図10のどこにくるでしょう。」に修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	11	本文	修正	5の文頭に「東京スカイツリーの高さは、634mです。」を付け加えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正	☆1の文章の「上の表に書きましょう。」を「図12のどこにくるでしょう。」に修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
13	本文	修正	問題1の計算の考え方を矢印で示している部分を、次の文章に修正した。  ① $7 \times 12$ 4に□をかけると12だから、 $7 \times 12$ の答えは、28に□をかけて□になる。  ② $70 \times 40$ 7に□をかけると70, 4に□をかけると40だから、 $70 \times 40$ の答えは、28に□をかけて□になる。	編集の具体的方針(4)に基づく。	

5年 上	13	本文	修正	<p>問題2の計算の考え方を矢印で示している部分を、次の文章に修正した。</p> <p>①<math>720 \div 80 = \square</math> 72を□倍すると720、8を□倍すると80である。 <math>72 \div 8 = 9</math>なので、<math>720 \div 80 = \square</math>となる。</p> <p>②<math>2000 \div 80 = \square</math> 100を□倍すると2000、4を□倍すると80である。 <math>100 \div 4 = 25</math>なので、<math>2000 \div 80 = \square</math>となる。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	青と白の帯の上下の位置を入れ替えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	14	本文	修正	「切り取って」を「作って」に修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	15	本文 図	削除 修正	<p>文章を次のように修正し、立体の図を削除した。</p> <p>81, 83ページで作ったア, イのどちらのかさが大きいかな。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	ひろきの吹き出し内の図を正面からの図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
	16	写真	削除	☆1の写真は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	立体アとイの図は、上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
		本文	追加	<p>次の文章を付け加えた。</p> <p>墨字では、<math>1 \text{ cm}^3</math>とかきます。</p>	編集の具体的方針(23)に基づく。
		図	修正	$1 \text{ cm}^3$ の図は展開図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
		図	修正	練習2の図は、上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
	17	図	修正	立体ウとエの図は、上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
		図	削除 修正	☆1の①の図を削除し、②の図は正面から見た図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
	18	図	修正	<p>練習3の図は、次の文章で表した。</p> <p>① たて6cm, 横7cm, 高さ5cmの直方体 ② 1辺が8cmの立方体 ③ たて4cm, 横6cm, 高さ4cmの直方体 ④ たて1m, 横40cm, 高さ10cmの直方体</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

5年 上		図	削除	練習4の図は展開図のみとした。	編集の具体的方針(5)に基づく。
	19	図	修正	3の図は上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
		図	削除	☆1の図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	20	本文 図	修正	たくみとみほの考えは図を削除し、式のみを表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	21	図	修正	練習5の図は上から見た図、正面から見た図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
	22, 23	図	削除	ノートの中に書かれている図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正	まちがえた部分の訂正の仕方を次のように修正した。  まちがえたところは、メで消さないで、訂正と書いて書き直し、正しい答えとどこをまちがえたのかを書くようにしています。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	24	本文 図	修正	文章を次のように修正し、図を削除した。  たて3 m, 横4 m, 高さ2 mの直方体の体積の表し方を考えましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		写真 本文	削除 追加	1m <sup>3</sup> の立体と女の子の写真を削除し、次の文章を追加した。  墨字では1 m <sup>3</sup> とかきます。	編集の具体的方針(23)に基づく。
		図	削除	1 m <sup>3</sup> と1 cm <sup>3</sup> の関係を表す図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		写真	削除	練習1の写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	25	図 本文	修正	3の文章を次のように修正し、図を上から見た図と正面から見た図で表した。  厚さ1 cmの板で図13のようなふたのない直方体の入れ物を作りました。(以下、原文のまま)	編集の具体的方針(5)に基づく。
		図	修正	☆1の図を正面から見た図で表す。	編集の具体的方針(5)に基づく。
26	図	削除	図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。	

5年 上		図	修正	練習2の文章を次のように修正し、図を削除した。  内のりが、たて20cm、横40cm、深さ30cmの水そうの容積は何 $\text{cm}^3$ ですか。また、何Lですか。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	26	図	修正	石の体積の求め方の図は、正面からみた図で表し、状態の説明を加えた。	編集の具体的方針(5)に基づく。
	27	本文	修正	作り方①②をまとめて①とし、次のように修正し、調べてみようの③、④を②、③とした。  ①1辺の長さが12cmの正方形の紙を使って、たて、横が10cm、深さが1cmのふたのない箱を作る。 キューブ 「どの辺の長さも整数になるようにします。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
		写真	修正	展開図の写真のみを図で表し、他の写真は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	28	図	修正	問題1の図は、次の文章で表した。  ①1辺が4mの立方体( $\text{m}^3$ ) ②たて60cm、横2m、高さ50cmの直方体( $\text{cm}^3$ )	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	問題2、3の図は上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
		図	修正	問題4の図を削除し、本文を以下のように修正した。  たて2m、横5m、高さ□mの直方体の体積は、30000Lです。この直方体の高さは、何mですか。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	29	図 本文	修正	問題1の文章中の「右の直方体」を「たて3cm、横5cm、高さ4cmの直方体」と修正し、図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	問題2②の文章中の「右のます」を「内のりのたて、横、深さが10cmのます」と修正し、図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	問題3の図を上から見た図と正面から見た図で表し、問題文を次のように修正した。  図19のような形の体積を次のような式で求めました。 $5 \times 2 \times 3 + 2 \times 6 \times 3$ どのように考えたのか説明しましょう。	編集の具体的方針(5)に基づく。
	30	図	修正	直方体を正面から見た図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
		本文	修正	☆2の「下の表に右のような矢印を書いて調べましょう。」を「表1を完成させましょう。」に修正し、高さ□を(ふ)、体積○を(む)で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

5年 上		図	修正	☆3の「右ページの下を表」を「表1」に修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	31	表	削除	表の上下についている「矢印□倍」の表現を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	32	本文	修正	キューブ「表3をみて2倍、3倍、…の関係を調べてみよう。」に修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		表	修正	数直線の上下についている「矢印□倍」の表現を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	33	本文	削除	ボールのコメントを削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	34	本文	削除	計算の考え方を矢印で示している部分を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	35	本文	追加	タイトルの後に、次の文章を追加した。  この単元では、主に珠算編3の「3-3小数のかけ算」を使って、そろばんでの計算の仕方考えましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		絵 本文	修正	導入部分の絵は黒板に書かれた内容のみを表した。 男の子は、はるきとした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	2本の数直線は上下の位置を入れ替えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	みほの2本の数直線の上下の位置を入れ替えて、矢印×□の表現を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	36	本文	修正	みほの発言と黒板に書かれた内容について、順序を次のように入れ替えた。  みほの発言→ $80 \times 2.3 = \square$ →図(数直線の上下の位置を入れ替えたもの)	編集の具体的方針(19)に基づく。
	37	本文	修正	たくみとかおりの考えを次のように修正した。 たくみの考え 2.3mは0.1mの23こ分。 0.1mのねだんを求めて、23倍すればよい。 1mを10で割ると0.1mだから、0.1mのねだんは80円を10で割って□円である。 (ア) 0.1mのねだん… $80 \div 10$ (イ) 2.3mの代金… $(80 \div 10) \times 23$ $80 \times 2.3 = 80 \div 10 \times 23$ =□ 答え □円  かおりの考え	編集の具体的方針(19)に基づく。

5年 上	37	本文	修正	<p>リボンの長さが10倍になると、代金も10倍になる。</p> $80 \times 2.3 = \square$ <p>2.3を10倍すると23なので、  <math>80 \times 23</math>の答え1840は、<math>80 \times 2.3</math>の答えの10倍である。          だから、1840を10で割ると、<math>\square</math>になる。</p> <p>(ア) 23mの代金…<math>80 \times 23</math>          (イ) 2.3mの代金…<math>(80 \times 23) \div 10</math></p> $80 \times 2.3 = 80 \times 23 \div 10$ $= \square$ <p>答え <math>\square</math>円</p>	編集の具体的方針(19)に基づく。
		絵	削除	練習1のホースの絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	38	絵	削除	2のパイプの絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	2本の数直線は上下の位置を入れ替えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正	<p>☆1の文章を次のように修正した。</p> <p>2. <math>14 \times 3.8</math>の計算のしかたを次のように考えました。この計算のしかたを説明しましょう。</p> $2.14 \times 3.8 = \square$ <p>2.14を<math>\square</math>倍すると214, 3.8を<math>\square</math>倍すると38なので、<math>2.14 \times 3.8</math>の答えを<math>\square</math>倍すると、<math>214 \times 38</math>の答えは8132になる。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
	本文	修正	<p>めあての文章とその説明を次のように修正した。</p> <p>2. <math>14 \times 3.8</math>の計算のしかたを考えよう。</p> <p>2.14を100倍すると214 小数点が右へ2けたうつる。          3.8を10倍すると38 小数点が右へ1けたうつる。</p> <p>(1) <math>214 \times 38</math>の計算となる。</p> <p>214の一の位の計算, <math>4 \times 38 = 152</math>          214の十の位の計算, <math>10 \times 38 = 380</math>          214の百の位の計算, <math>200 \times 38 = 7600</math></p> <p>(2) <math>152 + 380 + 7600 = 8132</math></p> <p>(3) 小数点をうつしたので答えは、元の計算の1000倍になっている。</p> <p>そこで8132を1000で割る。 <math>8132 \div 1000 = 8.132</math></p> <p>(4) <math>2.14 \times 3.8 = 8.132</math> (小数点が <math>2 + 1 = 3</math> で左へ3けたうつる)</p>	編集の具体的方針(16)に基づく。	

5年 上	39	本文	修正	「小数をかける筆算のしかた」は「小数をかける計算のしかた」とし、文章を次のように修正した。	編集の具体的方針(16)に基づく。
	39	本文	修正	<p>(1) 小数点がないものとして計算する。</p> <p>2. 14×3. 8の計算では</p> <p>2. 14の小数点を右へ2けたうつす。</p> <p>3. 8の小数点を右へ1けたうつす。</p> <p>(2) 積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけたの数の和だけ、右から数えてうつ。</p> <p>2. 14×3. 8の計算のかけられる数とかける数の右にあるけたの数の和は3けた。</p> <p>214×38=8132となるので、積の小数点を左へ3けたうつすと8. 132となる。</p> <p>2. 14×3. 8=8. 132</p> <p>キューブ「かける数が小数のときも、整数のときと同じように計算できるね。」</p>	編集の具体的方針(16)に基づく
		本文	修正	<p>練習3の筆算を横式に直し、次のように修正した。</p> <p>次の計算で、正しい積になるように、小数点をうちましよう。</p> <p>① <math>1.7 \times 2.3 = 391</math></p> <p>② <math>76.5 \times 8.3 = 63495</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく。
39	本文	修正	<p>3を次のように修正した。</p> <p>次の計算のしかたを考えましよう。</p> <p>① <math>4.92 \times 7.5</math></p> <p>(1) 小数点がないものとして計算すると、 <math>492 \times 75 = 36900</math></p> <p>(2) 積の小数点を、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけたの数の和だけ右から数えてうつと、 <math>4.92 \times 7.5 = 36.900</math>となる。後ろの00はいらない。</p> <p>(3) <math>4.92 \times 7.5 = 36.9</math></p> <p>② <math>0.18 \times 3.4</math></p> <p>(1) 小数点がないものとして計算すると、 <math>18 \times 34 = 612</math></p> <p>(2) 積の小数点を、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけたの数の和だけ右から数えてうつと、 <math>612</math>の6の前に小数点をうつことになる。<math>0.612</math>と表す。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく。	

5年 上			(3) $0.18 \times 3.4 = 0.612$		
	40	絵	削除	4の男の子の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	図7の2本の数直線は上下の位置を入れ替えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	41	本文	修正	5の長方形と直方体は、次のように文章で表した。  ア たて2.3cm, 横3.6cmの長方形 イ たて0.8m, 横1.2m, 高さ0.7mの直方体	編集の具体的方針(4)に基づく。
		写真	削除 修正	練習8の写真を削除し, 本文を次のように修正した。  東京駅には宮城県石巻市産の雄勝石にかかれたへき画「輝く」があります。たて1.9m, 横2.5mのこのへき画の面積は何㎡ですか。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	45	本文	修正	問題1のテトラ「答えのところに色をぬろう。」を「計算した答えが, 次の答えの中にあるかを確認しよう。」と修正し, 小問の前に挿入した。また, 答えには(ア)～(ソ)の記号を付けた。	編集の具体的方針(19)に基づく。
		写真	削除	問題3の写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	46	本文	修正	問題1の筆算を横式に直し, 次のように修正した。  計算のまちがいを見つけて, 正しい答えを求めましょう。 ① $5.26 \times 3.4 = 178.84$ ② $2.5 \times 8.4 = 0.2100$	編集の具体的方針(16)に基づく。
		本文	削除 修正	問題4の「 $3.14 \times 2.6$ の筆算で」を「 $3.14 \times 2.6 = 8.164$ の計算で」と修正し, 筆算を削除した。	編集の具体的方針(16)に基づく。
	48	本文	修正	みほの計算の考え方を矢印で示している部分を, 次の文章に修正した。  「 $7200 \div 800$ の商は, $72 \div 8 = \square$ の計算を使って求めることができます。72と8をそれぞれ100倍すると7200と800になるので $72 \div 8$ の答えは, $7200 \div 800$ の答えと等しい。わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない。」	編集の具体的方針(4)に基づく。

5年 上	本文	修正	<p>しんじの考えの筆算を横式に直し、次のように修正した。</p> <p>しんじの考え  <math>80 \div 25</math>の計算をわりきれのままですると、商は□です。  <math>80 \div 25 = 3</math>あまり5  80を□と考えて計算を続ける。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく。	
	49	本文	追加	<p>タイトルの後に、次の文章を追加した。</p> <p>この単元では、主に珠算編4の「4-3小数のわり算」を使って、そろばんでの計算の仕方考えましょう。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく。
		絵 本文	修正	<p>導入部分の絵は黒板に書かれた内容のみを表した。  女の子は、ほのかとした。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	<p>2本の数直線の上下の位置を入れ替えた。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
	50	本文	修正	<p>ゆみの発言と黒板に書かれた内容について、順序を次のように入れ替えた。</p> <p>ゆみの発言→<math>\square \times 2.5 = 300</math> <math>\square = 300 \div 2.5</math>  → 図(数直線の上下を入れ替えたもの)</p>	編集の具体的方針(19)に基づく。
	51	図	修正	<p>みほの考えの中で、図(数直線の上下を入れ替え)の前に式を挿入した。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく。
		本文	修正	<p>ひろきの考えを次のように修正した。</p> <p>リボンの長さが10倍になると、代金も10倍になるけど、1mのねだんは変わらない。  <math>300 \div 2.5 = \square</math>  300を10倍すると3000、2.5を10倍すると25なので、  <math>300 \div 2.5</math>の答えは、<math>3000 \div 25</math>の答え120と等しい。  (ア) 25mの代金…<math>300 \times 10</math>  (イ) 1mのねだん…<math>(300 \times 10) \div 25</math>  <math>300 \div 2.5 = 300 \times 10 \div 25 = \square</math>  答え □円</p>	編集の具体的方針(19)に基づく。
		絵	削除	<p>練習1のホースの絵を削除した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
	52	絵	削除	<p>2の鉄のぼうの絵を削除した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	<p>2本の数直線は上下の位置を入れ替えた。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

5年 上	52	本文	修正	<p>☆1の文章を次のように修正した。</p> <p>7. <math>56 \div 6.3</math>の計算のしかたを次のように考えました。この計算のしかたを説明しましょう。</p> <p>7. <math>56 \div 6.3 = \square</math></p> <p>7. 56を□倍すると75.6, 6.3を□倍すると63なので, 7. <math>56 \div 6.3</math>の答えは, 75.6<math>\div</math>63の答え1.2と等しい。</p>	編集の具体的方針(19)に基づく。
		本文	修正	<p>めあてと計算のしかたの文章を次のように修正した。</p> <p>7. <math>56 \div 6.3</math>の計算のしかたを考えよう。</p> <p>7. 56を10倍すると75.6 小数点が右へ1けたうつる。</p> <p>6. 3を10倍すると63 小数点が右へ1けたうつる。</p> <p>75.6<math>\div</math>63の計算となる。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく。
	53	本文	修正	<p>「小数でわる筆算のしかた」は「小数でわる計算のしかた」とし, 文章を次のように修正した。</p> <p>①わる数が整数になるように小数点を右へうつす。</p> <p>7. <math>56 \div 6.3</math>の計算では 6.3の小数点を右へ1けたうつす。</p> <p>②わられる数の小数点も, わる数の小数点をうつした数だけ右へうつす。</p> <p>7. <math>56 \div 6.3</math>の計算では 7.56の小数点を右へ1けたうつす。</p> <p>③わる数が整数のときと同じように計算する。</p> <p>7. <math>56 \div 6.3</math>の計算では75.6<math>\div</math>63の計算をする。 (確認) 商の小数点は, 一の位のあとにつける。</p>	編集の具体的方針(16)に基づく。
		本文	修正	<p>3を次のように修正した。</p> <p>次の計算のしかたを考えましょう。</p> <p>① <math>2.34 \div 3.9 = 0.6</math></p> <p>② <math>1.8 \div 2.4 = 0.75</math></p> <p>③ <math>8 \div 2.5 = 3.2</math></p>	編集の具体的方針(16)に基づく。
	54	写真	削除	4のリボンの写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	図7の2本の数直線は上下の位置を入れ替えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	55	絵	削除	5の女の子の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

5年 上	本文	修正	☆1のひろきの考えを次のように修正し、筆算を削除した。  2.5÷0.7の計算では、わる数とわられる数の小数点を右に1けたうつして、25÷7を計算する。25÷7=3あまり4だけど、あまりは4でいいのかな。	編集の具体的方針(16)に基づく。										
	本文	削除	まとめの欄に書かれた筆算を削除した。	編集の具体的方針(16)に基づく。										
	56	写真	削除	6の砂とはかりの写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。									
		図	修正	2本の数直線は上下の位置を入れ替えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。									
		本文	修正	☆2の四捨五入の箇所を次のように表した。  2.5÷1.5=1.66… (四捨五入して1.7)	編集の具体的方針(19)に基づく。									
	57	図	修正	2本の数直線は上下の位置を入れ替えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。									
	59	絵	削除	犬の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。									
	60	図	修正	3の図は次のような表で表した。  <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">2000年</td> <td style="text-align: center;">2010年</td> </tr> <tr> <td>ノート</td> <td style="text-align: center;">120円</td> <td style="text-align: center;">150円</td> </tr> <tr> <td>筆箱</td> <td style="text-align: center;">1500円</td> <td style="text-align: center;">1530円</td> </tr> </table>		2000年	2010年	ノート	120円	150円	筆箱	1500円	1530円	編集の具体的方針(4)に基づく。
		2000年	2010年											
	ノート	120円	150円											
筆箱	1500円	1530円												
61	本文	修正	問題1のテトラ「答えのところに色をぬろう」を「計算した答えが、次の答えの中にあるかを確認しよう。」と修正し、小問の前に挿入した。また、答えには(ア)～(ソ)の記号を付けた。	編集の具体的方針(19)に基づく。										
	絵	削除	問題4の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。										
62	本文	修正	問題1の筆算を横式に直し、次のように修正した。  計算のまちがいを見つけて、正しい答えを求めましょう。 ① 2.1÷2.8=7.5 ② 752÷1.6=47	編集の具体的方針(16)に基づく。										
64	絵 図	削除 修正	どんな計算になるのかな?のページの全体的な絵を削除し、②と⑤の2本の数直線は上下の位置を入れ替えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。										
66	写真	修正	お金、教科書、地面の写真の拡大図を点図で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。										

5年 上		本文	修正	☆1の「145 ページのア, キを切り取って」を「ア, キの形を準備して」と修正した。 付録を削除したので, 指導の際にアやキと合同な形を準備することが望ましい。	編集の具体的方針(19)に基づく。
	68	写真	削除 修正	練習1の写真を削除して文章で表した。  例 CD, トランプ, 色紙	編集の具体的方針(4)に基づく。
	70	本文	修正	3のテトラのコメントを次のように修正した。  テトラ「実際に四角形を作って調べよう。」	編集の具体的方針(19)に基づく。
		図	修正	3の図形の名前を図の上に移動した。	編集の具体的方針(19)に基づく。
	72	本文	修正	☆2の3人のかき方は次のように文章で表した。  みほのかき方 ① 長さが6 cmの直線BCをひく。 ② 角Bの大きさが $35^\circ$ になるように直線をひく。 ③ 辺BAの長さが5.5cmになるように, コンパスで頂点Aの位置に印をつける。 ④ 頂点Aと頂点Cを結ぶ。  たくみのかき方 ① 長さが6 cmの直線BCをひく。 ② 角BBの大きさが $35^\circ$ になるように直線をひく。 ③ 角Cの大きさが $65^\circ$ になるように直線をひく。 ④ ②, ③でひいた直線の交わった位置が頂点A である。  かおりのかき方 ① 長さが6 cmの直線ABをひく。 ② 頂点Bを中心として半径5.5cmの円の一部をかく。 ③ 頂点Cを中心として半径3.5cmの円の一部をかく。 ④ ②と③でかいた円の交わった位置が頂点Aである。 ⑤ 頂点Aと頂点Bを結び, 頂点Aと頂点Cを結ぶ。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正 削除	テトラのコメントは削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	74	図	修正	☆1のしんじの考えの図は, 2つの平行四辺形に分けて表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正	☆3のボールのコメントを次のように修正した。  ボール「図16 の中で, 自分が使った辺や対角線, 角を確かめよう。」	編集の具体的方針(4)に基づく。

5年 上	75	図	削除 修正	<p>問題2の図を削除し、次のように文章で表した。</p> <p>次のような三角形をかきましよう。</p> <p>①2つの辺の長さが5cm, 6cmで、その間の角の大きさが<math>70^\circ</math>の三角形</p> <p>②1つの辺の長さが7cmで、その両はしの角の大きさが<math>30^\circ</math>と<math>50^\circ</math>の三角形</p> <p>③3つの辺の長さが10cm, 8cm, 6cmの三角形</p>	編集の具体的方針(19)に基づく。											
	76	図	削除 修正	<p>2の問題の図を削除し、次のように修正した。</p> <p>次の①～③の性質があてはまる四角形をアからオから全部選びましよう。</p> <p>ア台形, イ平行四辺形, ウひし形, エ長方形, オ正方形</p> <p>キューブ「四角形は29ページの図8にあるよ。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。											
	78	絵	削除 修正	<p>スタートのページの絵を削除し、次のように文章で表した。</p> <p>次の①, ②の数を使った分け方について話し合ってみよう。</p> <p>①30人で工場見学に行きました。</p> <p>出席番号1～15の人 →Aコース</p> <p>出席番号16～30の人 →Bコース</p> <p>②30人のクラスで、そうじの場所を決めます。</p> <p>先生「大そうじをするので、出席番号を使ってクラスを3つに分けます。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。											
	79	絵 本文	削除 修正	<p>導入部分の挿絵を削除し、文章部分のみを生かした。</p> <p>男の子はあゆむとした。</p> <p>先生「1から40までの数が書かれたカードを1まいずつひいて、あたりとはずれに分けていきます。」</p> <p>表2</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>はずれ</td> <td>5</td> <td>19</td> <td>35</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>あたり</td> <td>6</td> <td>20</td> <td>40</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>あゆむ「28はあたりかな、はずれかな。」</p>	はずれ	5	19	35	1	3	あたり	6	20	40	2	4
はずれ	5	19	35	1	3											
あたり	6	20	40	2	4											
80	図	修正	<p>☆3の数直線が目盛線は横線とクロスするように入れ、偶数は目盛りの上、奇数は目盛りの下に表した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。												

5年 上		本文 図	修正	整数のなかま分けの図は、次のように文章に修正した。 整数 偶数 0, 2, 4, 6, …… 奇数 1, 3, 5, 7, ……	編集の具体的方針(4)に基づく。
	81	絵	削除 修正	えん筆とキャップの絵を削除し、女の子をさくら、男の子をはやととした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	83	本文	修正	練習3の文章中の「○で囲みましょう」を「印をつけましょう」に修正した。また、数直線は1本のみとし、目盛線が横線とクロスするようにした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	指導する際には、4種類のシールなどを準備し、2の倍数と4の倍数は数直線の上に貼り、3の倍数と5の倍数は数直線の下に貼るという使い方が望ましい。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	84	図	修正	まとめの中の矢印で示した図式を、次のように修正した。  12 24 12×2 36 12×3 48 12×4	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文 図	修正	☆4の文章を次のように修正した。さらに、数直線は1本のみとし、目盛線が横線とクロスするようにした。  図5の数直線で、2, 3, 4の倍数に印をつけよう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	85	図 絵	削除	☆1の図と練習7の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	86	本文	修正	②の女の子をあやね、男の子をげんきとし、あやねの考えにある筆算を横の式にした。	編集の具体的方針(16)に基づく。
	88	図	削除	12と4が倍数と約数の関係にあることを矢印で示した図はボールのコメントで説明されているので削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正	☆5を次のように修正した。さらに、数直線は1本のみとし、目盛線が横線とクロスするようにした。  図11の数直線で、12の約数、18の約数に印をつけよう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
89	絵	削除	練習2の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。	

5年 上	92	図	修正	<p>たくみの分数と小数の対応について、次のように表した。</p> $1/2 \text{ L} \quad 1/2 = 1 \div 2 = 0.5 \quad 0.5\text{L}$ $1/4 \text{ L} \quad 1/4 = 1 \div 4 = 0.25 \quad 0.25\text{L}$ $1/5 \text{ L} \quad 1/5 = 1 \div 5 = 0.2 \quad 0.2\text{L}$ $1/10 \text{ L} \quad 1/10 = 1 \div 10 = 0.1 \quad 0.1\text{L}$	編集の具体的方針(4)に基づく。
	93	絵	削除	絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	93	図	削除	1の図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	94	図	削除	ひろきの考えの図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	95	図	修正	ゆみのコメント内の数直線と帯の上下の位置を入れ替えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	96	本文	削除 修正	練習5の絵を削除し、「犬の親子がいます。親の犬の体重は11kgで、子犬の体重は6kgです。」と修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	☆1の数直線の上下の目盛りを入れ替えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	98	本文	修正	<p>筆算を横の式で表した。</p> $1 \div 7 = 0.14285714\dots$	編集の具体的方針(16)に基づく。
	101	写真	修正	写真を図に置き換えて表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正	<p>たくみのコメントを次のように修正した。</p> <p>たくみ 「ならべて数えればわかるけど…。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	☆1のかおりの考えの図は、表のあとに挿入した。	編集の具体的方針(19)に基づく。
		図	削除	ゆみのコメントの表はかおりの表と同じなので、削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	102	図 本文	修正	<p>たくみの考えは図を削除し、次のように表した。</p> <p>たくみの考え</p> <p>正方形の数が30個のとき、は□個だから、  <math display="block">1 + 3 + 3 + \dots + 3 = 1 + 3 \times 30 = \square</math> 3が30個  答え □本</p>	編集の具体的方針(19)に基づく。
		本文	修正	かおりの考えは図を削除し、文章で表した。また、表の下に矢印で「3本ずつ増える」と書かれていたところは、矢印を削除し、ボールのコメントを挿入した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

5年 上	102	本文	修正	<p>かおりの考え</p> <p>正方形の数が1個のとき、ぼうは4本。 正方形の数が2個のとき、ぼうは4 + 3。 正方形の数が3個のとき、ぼうは4 + 3 + 3。</p> <p>表</p> <table border="1"> <tr> <td>正方形の数(個)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ぼうの数(本)</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>19</td> </tr> </table> <p>ボール「ぼうの数は3本ずつ増えているね。」</p> <p>正方形の数が30個のとき、ぼうは  <math>4 + 3 + 3 + \dots + 3</math>  <math>= 4 + 3 \times (30 - 1)</math>  <math>= \square</math>  3が(30 - 1)個  答え <math>\square</math>本</p>	正方形の数(個)	1	2	3	4	5	6	ぼうの数(本)	4	7	10	13	16	19	編集の具体的方針(19)に基づく。
	正方形の数(個)	1	2	3	4	5	6												
	ぼうの数(本)	4	7	10	13	16	19												
105	本文	追加	<p>タイトルの後に、点字での分数表記の仕方についての説明を、以下のように加えた。</p> <p>「点字で分数を書くときには、記号「み…も」で分数全体を囲むことがあります。この記号を分数囲み記号といいます。例えば、<math>1/2</math>は、「<math>\text{⠠⠨⠠⠤}</math>」のように書きます。「<math>\text{⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠}</math>」は、分母が<math>5 \times 3</math>、分子が4の分数のことです。これは、「<math>\text{⠠⠠}</math>」で分数が始まることを示し、次に分子「<math>\text{⠠⠠}</math>」分母を書いて、「<math>\text{⠠⠠}</math>」で分数が終わったことを示します。</p>	編集の具体的方針(27)に基づく。															
	本文	追加	<p>数式指示符の使い方に関する説明を、分数の表記の説明の後に以下のようにつけ加えた。</p> <p>カッコ「<math>\text{⠠⠠}</math>」などの記号から始まる式には、<math>\text{⠠⠠⠠⠠⠠⠠}</math>  <math>\text{⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠}</math> のように式のはじめに「<math>\text{⠠⠠}</math>」をつけて書きます。ただし、数符「<math>\text{⠠⠠}</math>」から始まる式と日本語を含むカッコ「<math>=</math>」から始まる式には、この「<math>\text{⠠⠠}</math>」をつけません。</p>	編集の具体的方針(27)に基づく。															
	図	修正	<p>めあての後の等しい分数の分母と分子をそれぞれ矢印でつないだ図を、次のように表した。</p> <p>キューブ「分母と分子の増え方に注目してみよう。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。															

5年 上	106	本文	修正	<p>☆1の文章中の「下の図を見て」を「次の文を読んで」と修正し、図を次のように文章で表した。</p> <p><math>2/8</math>は<math>1/4</math>のと分母と分子をそれぞれ□倍したものです。</p> <p><math>3/12</math>は<math>1/4</math>の分母と分子をそれぞれ□倍したものです。</p> <p><math>□/16</math>は<math>1/4</math>の分母と分子をそれぞれ□倍したものです。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正	<p>☆3の文章中の「下の図を見て」を「次の文を読んで」と修正し、図を次のように文章で表した。</p> <p><math>2/8</math>の分母と分子をそれぞれ□でわると<math>1/4</math>です。</p> <p><math>3/12</math>の分母と分子をそれぞれ□でわると<math>1/4</math>です。</p> <p><math>4/16</math>の分母と分子をそれぞれ□でわると<math>1/4</math>です。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
	107	絵	修正	<p>☆1のたくみとかおりの考えを次のように修正した。</p> <p>たくみの考え</p> <p><math>2/3</math>, <math>3/4</math>を, 分母が24の分数に…。</p> <p><math>2/3</math>の分母と分子をそれぞれ8倍すると,</p> <p><math>2/3 = □/24</math>。</p> <p><math>3/4</math>の分母と分子をそれぞれ6倍すると,</p> <p><math>3/4 = □/24</math>。</p> <p>かおりの考え</p> <p><math>18/24</math>の分母をできるだけ小さく…。</p> <p><math>18/24</math>の分母と分子をそれぞれ6でわると,</p> <p><math>18/24 = □/4</math>。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
	108	本文	修正	<p>☆3のしんじとみほの約分のしかたを, 次のように表した。</p> <p>しんじの考え</p> <p>分母と分子を2でわると, <math>6/10</math></p> <p>もう一度2でわると, <math>3/5</math></p> <p>だから, <math>12/20 = 3/5</math></p> <p>みほの考え</p> <p>分母と分子を4でわると, <math>3/5</math></p> <p>だから, <math>12/20 = 3/5</math></p>	編集の具体的方針(19)に基づく。
		写真	削除	練習3の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

5年 上	110	本文	削除 修正	通分の仕方を説明する矢印を削除して以下のように修正した。  3/4の分母と分子を5倍すると15/20 4/5の分母と分子を4倍すると16/20	編集の具体的方針(4)に基づく。
	111	本文	削除	牛乳の写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	112	図	修正	☆1のゆみの計算の約分を26/48の後に=13/24を続けて表した。	編集の具体的方針(19)に基づく。
	115	図	削除	みほの図の分割は細かすぎるため削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	116	表	修正	問題4のキューブ「答えのところに色をぬろう」を「計算した答えが、次の答えの中にあるかを確認しよう。」と修正し、小問の前に挿入した。また、答えには(ア)～(セ)の記号を付けた。	編集の具体的方針(19)に基づく。
	118	写真	修正	資料1～資料3のグラフの中に数値は入れずに形状のみで表し、数値は表で示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	119	写真	削除	路面電車の写真と市名を全て削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	120	本文	修正	問題5の③の図を上から見た図、正面から見た図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
		図	修正	□○△ハート、ダイヤを(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	122	図	修正	△アの図は、次の文章で表した。  次の直方体や立方体の体積は何cm <sup>3</sup> ですか。 ① たて7cm, 横8cm, 高さ4cmの直方体 ② 一辺6cmの立方体 ③ たて9cm, 横4cm, 高さ4cmの直方体 ④ たて60cm, 横1m, 高さ20cmの直方体	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	□アの図は、次の文章で表した。  ①体積 72cm <sup>3</sup> , たて4cm, 横3cm, 高さ□cm ②体積 140cm <sup>3</sup> , たて□cm, 横7cm, 高さ5cm	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図	修正	△イの図は、上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。
	123	本文 図	修正	□イの図は、上から見た図と正面から見た図で表した。ア,イ,ウについては上から見た図のみで表した。	編集の具体的方針(5)に基づく。

5年 上		本文 図	修正 削除	△ウの文章中の「右の水そう」を「内のりがたて30cm, 横50cm, 深さが30cmの水そう」と修正し, 図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正 削除	□ウの文章中の「右の容器」を「内のりがたて30cm, 横40cm, 深さが50cmの容器」と修正し, 図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	124	本文	修正	△カの筆算を横式に直し, 次のように修正した。  正しい積になるように, 小数点をうちましよう。 ① $4.3 \times 2.7 = 1161$ ② $2.64 \times 5.1 = 13464$	編集の具体的方針(16)に基づく。
		本文	修正	□カの筆算を横式に直し, ゆうこの説明③を次のように修正した。  $2.1 \times 3.4 = 71.4$ ゆうこ 「 $2.1 \times 3.4$ を ①小数点がないものとして $21 \times 34$ を計算する。 ②その積は714になる。 ③小数点をかけられる数とかける数に揃えて右から1けたうつして71.4になる。」	編集の具体的方針(16)に基づく。
		本文	削除	△キの問題文から「筆算で」を削除した。	編集の具体的方針(16)に基づく。
		本文	修正	□クを筆算から横式の問題に修正した。  □にあてはまる数字を入れ, 積には必要な場所に小数点をうって正しい式と積を書きましょう。小数の最後の位が0のときは0は書きません。 ① $\square.4 \times 2.5 = \square5\square$ ② $\square.19 \times 4.8 = \square9\square2$	編集の具体的方針(16)に基づく。
	126	本文	修正	□ソを筆算から横式の式の問題に修正した。  □にあてはまる数字を入れ, 商には必要な場所に小数点をうって正しい式と商を書きましょう。 ① $2.\square6 \div 3.2 = \square\square$ ② $4.2 \div \square.6 = 0\square5$	編集の具体的方針(16)に基づく。
	128	図	修正	△ヌの図を削除し, 次のように文章で表した。  ある直方体の面A(高さ×横)の面積は $6\text{cm}^2$ , 面B(たて×横)の面積は $8\text{cm}^2$ , 面C(高さ×たて)の面積は $12\text{cm}^2$ です。	編集の具体的方針(4)に基づく。

5年 上	135	写真	削除	階段の写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	137	絵	修正	問題2の干支の絵は、表で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		図 絵	削除	問題3の図、問題4の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	138	図 本文	削除 修正	発展5の手順を説明した図を削除し、文章を次のように修正した。  ①2の倍数に印をつけていきます。 ②3の倍数に印をつけていきます。 ③印のついていない数のうち、1以外の最小の数を探してその数の倍数に印をつけていきます。 ④③をくり返していくと、最後はどんな数が残っていますか。	編集の具体的方針(19)に基づく。  編集の具体的方針(4)に基づく
		図 本文	修正		
	140	図	修正 削除	図1, 図2, 図3の数直線の上下の位置を入れ替え、みほのノートの数直線を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	141	図	修正 削除	図4, 図5, 図6の数直線の上下の位置を入れ替え、たくみのノートの数直線を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	142	本文	修正	①の何倍を表す矢印は削除して次のように文章で表した。  $2 \times 3 = 6$ かけられる数の2を10倍すると積の6も10倍になり、 $20 \times 3 = 60$ となる。 $2 \times 3 = 6$ かける数の3を100倍すると積の6も100倍になり、 $2 \times 300 = 600$ となる。 $2 \times 3 = 6$ かけられる数の2を10倍、かける数の3を100倍すると積の6は1000倍になり、 $20 \times 300 = 6000$ となる。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	削除 修正	②の矢印を削除して、次のように文章で表した。  $150 \div 50 = 3$ のわられる数150とわる数50を10でわると $15 \div 5 = 3$ となり、商の3は変わらない。 $15 \div 5 = 3$ のわられる数15とわる数5に10をかけると $150 \div 50 = 3$ となり、商の3は変わらない。	編集の具体的方針(4)に基づく。
		本文	修正	③の四捨五入する図を次のように文章で表した。  13648 百の位の6を切り上げると 14000 13648 千の位の3を切り捨てると 10000	編集の具体的方針(4)に基づく。

5年 上			17392 百の位の3を切り捨てると 17000 17392 千の位の7を切り上げると 20000	
	㊦	削除 修正	④の10倍とわる10を表す矢印を削除して次のように 文章で表した。  10倍すると一つ位が上がり, 10でわると一つ位が下 がる。	編集の具体的方針(4)に 基づく。
	143	㊦	修正	⑨㊦形の名前は㊦の上に挿入した。
	㊦	修正	⑩青と赤を示す帯の位置を入れ替えた。	編集の具体的方針(4)に 基づく